取扱説明書

LG Styler
LGスタイラー

ご使用の前に、必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。本製品は、家庭あるいは家庭に類似した環境（小規模なオフィスなど）で使用するために設計、製造されています。屋外や業務用として使用しないでください。電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。日本国内で使用してください。

型番: SC5**R8*S

MFL05897104
Rev.01_102626

www.lg.com

Copyright © 2026 LG Electronics. All Rights Reserved

目次

安全上のご注意

3 ご使用前に必ずお読みください
4 警告
9 注意

LG ThinQ の使い方

12 LG ThinQ と LG家電を接続する
13 LG ThinQ アプリで製品を操作する

詳しく見る

14 スタイラーの外観と機能について

使い方

17 知っておくと便利な情報
24 ご使用になる前に
25 衣類をセットする
29 コースの選び方
35 高圧ハンディスチーマーを使用する
39 設定する

お手入れ

42 庫内やドア表面のお手入れ

設置

45 製品を設置する

故障連絡の前に

48 故障診断する
48 問題を解決する

その他

53 仕様
53 オープンソース情報
53 本機の廃棄
54 保証とアフターサービス

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください

この注意事項は、本製品を安全に正しくご使用いただき、人への危害や財産の損害を防止するためのものです。

注意事項を「警告」、「注意」、「注記」に区別して明示していますので、お使いの際には、必ずお守りください。

安全記号と意味



この安全記号は、危険を引き起こすおそれのある事柄や操作について注意喚起するための記号です。危険を避けるために、この記号がある箇所を注意深く読んで指示に従ってください。



警告

この表示に従わずに、誤った使い方をすると、死亡や重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

この表示に従わずに、誤った使い方をすると、軽傷を負うおそれがある内容、または財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。



製品の取扱説明書を必ずお読みください。

R290 冷媒使用製品（ラベル）に表示される安全記号と意味



この安全記号は、本機が可燃性冷媒（R290）を使用していることを示す記号です。冷媒が漏れて火災が発生するおそれのある外部要因にさらされると火災の原因になります。



この記号は、サービスセンターの修理担当者が取扱説明書を参照して製品を取り扱う必要があることを示す記号です。



この記号は、取扱説明書または設置説明書などの情報が使用可能であることを示す記号です。

R290 冷媒使用製品に該当します。製品の側面に貼付してあるラベルで使用冷媒を確認してください。

警告

⚠ 警告

- 以下の注意事項を必ずお守りください。火災・感電などにより大けがや死亡の原因になります。

設置時のご注意

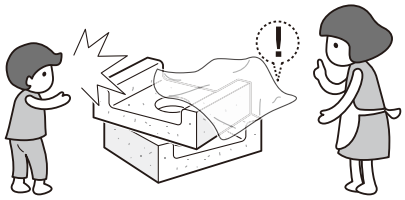
⊘ 禁止事項

- 以下のような場所に設置、保管しない。
  感電、故障、火災の原因になります。
  - 不安定で強度が弱い場所
  - 極端に高温、低温な場所（10 °C～35 °C以外の場所）
  - 温度の変化が激しい場所（結露が発生するおそれのある場所）
  - 浴室や湿度が高い場所、水がかかる場所
  - 暖房器具など熱源に近い場所
  - テレビ、ラジオ、電子レンジなどに近い場所(映像の乱れや雑音などの原因)
- LGエレクトロニクスサービスセンターの修理技術者以外は分解・修理・改造しないでください。
- 本機をカーテン、カーペットなどの燃えやすいものの近くに設置しないでください。

○ 遵守事項

- 床が丈夫で水平（傾斜2.5 cm未満）なところに設置し、がたつきや傾きがないように調節脚で調整する。不安定な状態で設置すると動作中の振動が大きくなり、転倒して、けがや破損の原因になります。
- 製品のドアがガラス製の場合、ドア表面に直射日光があたらないように設置する。
  ガラスに直射日光があたると、日光が屈折、反射して一点に集中し、
  火事を引き起こすおそれがあります。
  特に冬には太陽の高度が低くなり、部屋の奥まで直射日光が差し込むため注意が必要です。
- 地震などに備えて、転倒防止の処置をする。
  転倒し、けがの原因になります。
- アース（接地）を取り付ける。
  アースを取り付けていないと故障などで漏電したときに感電するおそれがあります。
  コンセントにアース端子がない場合は、必ず販売店または最寄りの電気工事店にご相談ください。
- 上面2.5cm、左右側面5cm、背面5cm以上のすき間をあけてください。
- 電源プラグが抜きやすい場所に製品を設置する。

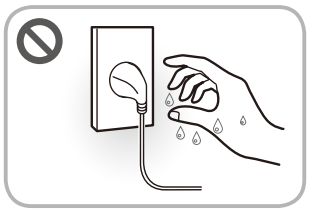
- 製品の梱包材（ビニール、発泡スチロールなど）は設置後すぐに捨てる。子供が梱包材で遊んで窒息するおそれがあります。



電源コード、電源プラグに関するご注意

⃠ 禁止事項

- 延長コードの使用や、テーブルタップなどによるタコ足配線をしない。
  発熱してコードの被膜が溶けて感電や火災の原因になります。
- 電源プラグや電源コードが破損するようなことはしない。
  感電や火災の原因になります。
  電源プラグや電源コードの破損を見つけた時は使用を中止し、
  LG エレクトロニクスジャパンカスタマーセンターに修理を依頼してください。
  - 傷付けたり、加工したりしない。
  - 熱器具に近づけたりしない。
  - 無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたりしない。
  - 挟み込んだり、重いものを載せたり、とがったものを近づけたり、
    本機の背面で押したりしない。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
  感電の原因になります。

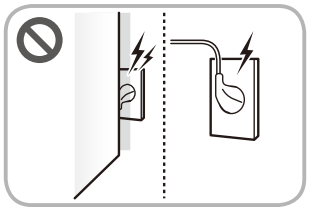


- 電源プラグを電源線のないマルチコンセント（アタッチメント型）、プラグアダプター、
  その他の付属品などにつなげない。

○ 遵守事項

- 交流100 V、定格15 A以上のコンセントを単独で使用する。
  他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。
- 容易に手が届く位置のコンセントに電源プラグを接続する。
  異常時にすぐに電源プラグが抜けないと、事故や火災につながるおそれがあります。
  また、コンセント付近は手が入るすき間を確保してください。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
  電源コードが損傷し、感電や火災の原因になるおそれがあります。

- 定期的にプラグに付いたほこりを乾いた布でふき取る。
  ほこりがたまるとショートして火災の原因になります。
- 長期間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜く。
  感電や火災の原因になります。
- 製品を設置するときは電源線を専用コンセント（壁面）につなげる。専用コンセント（壁面）につなげられない場合は、電流容量が 15A 以上、アース端子付きのマルチコンセントを新たに購入して使用する。マルチコンセントには本機のみをつなぐ。
  – 定期的にマルチコンセント電源線の被覆状態とプラグの接続状態を確認してください。
- 電源プラグが製品の背面で押されたり逆さまになるように差し込まず、ぐらつかないように根元まで差し込む。



- 電源プラグに水や汚れが付着している場合は、完全に除去してからコンセントにしっかりと差し込む。
- 落雷の際や、製品を長時間使用しない場合は電源プラグを抜く。
- 動物に電源線をかじられないようにする。
- 定期的に製品の電源線の被覆状態とプラグの接続状態を確認する。
- ペットや、ネズミ・昆虫(ゴキブリ・ハエ・トコジラミなどの)の残骸が庫内に入らないように周りの環境を整える。
- お手入れのときは電源プラグを抜く。
- 庫内の電気部品に水が入った場合は電源プラグを抜いた後、
  LG エレクトロニクスジャパンカスタマーセンターにご連絡ください。
- 電源線または電源プラグが破損している場合使用を中止し、LG エレクトロニクスジャパンカスタマーセンターにご連絡ください。電源コンセントの穴が緩んでいる場合は使用を中止し、電気工事店に修理を依頼し てください。

一般的なご注意

⃠ 禁止事項

- 子供に製品で遊ばせない。
  内部に閉じこめられたり、ドアにぶら下がってけがをするおそれがあります。
  子供が製品の近くにいるときは目を離さないでください。
- 次のものを入れない。
  ペットがやけどをしたり電気製品や芳香剤が過熱して故障や発火の原因になります。
  – ペットなどの動物

- 電気製品（スマートフォンなど）
- 吊り下げ型や置き型の消臭剤や芳香剤
- 火のついたローソクやお香などの火気

- 身体能力、感覚能力または精神能力が低下している方（お子様を含む）、または経験や知識が不足している方は、
  安全について責任を負う方による監督または本製品の使用に関する指導を受けたうえで使用してください。
- 次のものは乾燥させない。
  酸化熱による自然発火や引火の原因になります。
  - 美容オイル（エステ用ボディオイルなど）、食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、ベンジン、シンナー、ガソリン、灯油などが付着した衣類やタオルなど
  - 発泡ウレタン（スポンジ類）の入った製品
  - ポリプロピレン繊維
  - 樹脂（セルロース系）
- ドアを開け閉めするときは以下のことに注意する。
  指を挟んでけがをするおそれがあります。
  - 他の人が触っているときはドアを開け閉めしない。
  - ドアと本機側面のすき間に指をかけない。
  - ドアに足を近づけすぎない。
  - ドアを強く開け閉めしない。
- 分解、改造、修理しない。
  感電や火災、けが、やけどの原因になります。
  修理が必要なときは、LG エレクトロニクスジャパンカスタマーセンターにご連絡ください。
- 収納庫として使用しない。
  ハンガーに衣類をかけたまま保管したり、重量があるものや電気製品などを保管するなど本来の用途から外れて使用すると、故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ドア前面のガラス製の操作パネルに強い衝撃を加えない。
  強化ガラス製ですが、ガラスが割れてけがの原因になります。
- 製品の上にものを置かない。
  振動でものが落下し、けがの原因になります。
- 可燃性のスプレーを製品の内部や近くで使用しない。
  引火して爆発の原因になります。
- スチームノズル、空気吸気口、および空気排気口に細いものを差し込まない。
  感電や火災の原因になります。
- キリやピンなどの鋭利なもので操作部を押さない。
- ニオイを消すためにろうそくを製品に入れない。

○ 遵守事項

- 異音、異臭、発煙などの異常を感じたら、速やかに電源プラグを抜く。
  感電や火災の原因になります。故障した状態では使用せずに、LG エレクトロニクスジャパンカスタマーセンターに修理をご依頼ください。
- 子供は、保護者の監督や指示なしに本機を安全に使用できません。
  安全に使用するため以下の行為を行わないよう保護者が監督する。
  - 製品の中に入る行為
  - 製品に乗る行為
  - ドアにぶら下がる行為
- 動物が製品の中に入ったり乗ったりしないようにする。
- 衣類を製品の中に入れる前にポケットにあるものはすべて取り出す。
  - ライター、マッチ、小銭、ヘアピン、カギなど

高圧ハンディスチーマーに関するご注意

⊘ 禁止事項

- 高圧ハンディスチーマーは家庭用に設計されています。それ以外の用途では使用しない。
- 高圧ハンディスチーマーは LG エレクトロニクス製のスタイラー専用ですので、
  他の家電製品に取り付けて使用したり他の用途で使用しない。
- 電源がオンになっているときや動作中は人や動物に向けてスチームを噴射しない。
  蒸気でやけどするおそれがあります。
- 高圧ハンディスチーマーを着用中の衣類に使用しない。
- 電源がオンになっているときや動作中は子どもやペットが近づかないようにする。
- 使用直後は高圧ハンディスチーマーのスチーマーヘッド、スチームホースを
  手や足で触らない。残熱でやけどをするおそれがあります。
- 高圧ハンディスチーマーをガラスに使用しない。ガラスが割れてけがをするおそれがあります。
- 高圧ハンディスチーマーを電子製品に使用しない。電子製品が故障したり破損したりするおそれがあります。
- 子どもやペットが高圧ハンディスチーマーで遊ばないように注意する。
- 高圧ハンディスチーマーに衝撃を与えたり落としたりしない。高圧ハンディスチーマーが破損した場合は、スチーマーに触れずに LG エレクトロニクスジャパンカスタマーセンターにご連絡ください。
- お手入れの時は、製品に直接水をかけない。

○ 遵守事項

- 使用後は高圧ハンディスチーマーを 5分以上十分に冷ましてから収納する。十分に冷めて

いない状態でスチーマーヘッドやスチームホースを触るとやけどをするおそれがあります。
- 電源プラグを抜いてから給水タンクに水を入れたり製品のお手入れをする。
- 高圧ハンディスチーマーが破損して内部が露出したときは、高圧ハンディスチーマーに触れずに LG エレクトロニクスジャパンカスタマーセンターにご連絡ください。

製品を廃棄するときのご注意

⃠ 禁止事項

- 製品を廃棄するときはドアのパッキンを外して子供が庫内に閉じ込められないようにする。
- 製品を廃棄するときは電源プラグを切ってから廃棄する。

万が一に備えて

○ 遵守事項

- ガス（イソブタン、プロパン、都市ガスなど）が漏れたときは、製品または電源プラグに触れず直ちに換気する。
- 製品の底面が水に浸かったときは製品に近づかない。
- 製品が浸水した場合は使用を中止して LG エレクトロニクスジャパンカスタマーセンターにご連絡ください。

注意

⚠ 注意

- 以下の注意事項を守らなければ、やけどを含むけがや製品の破損の原因となります。

設置時のご注意

⃠ 禁止事項

- 移動式車両（キャンピングカーなど）、船舶、飛行機などの中に製品を設置しないでください。
- 気温が氷点下の日に納品された製品は、設置後すぐに作動させないでください。
- タンクに水がある状態で後ろに傾けないでください。製品を移動したり再設置したりする場合は、タンクの水を抜いてから移動してください。水がある状態で製品を傾ける場合、庫内に水が漏れて正常に作動しないことがあります。

○ 遵守事項

- 製品に取り付けられている梱包材（発泡スチロールや段ボールなど）や保護用のビニールシートは残さずにすべて取り除いてください。
  そのまま使用すると故障の原因になります。ドア内部のビニールシートも忘れずに取り外してください。

- 製品の周囲はすき間をあけて設置してください。
  すき間がない場合、放熱が妨げられて故障の原因になります。
  また、運転中の振動で製品や周囲を傷付ける原因になります。
- 一度設置した製品を移動するときは、給水タンク、排水タンクを空に してください。
  水が漏れて、じゅうたんや床を傷めるおそれがあります。
- 製品の設置場所は、エアコンの風が直接当たる場所を避けてください。庫内との温度差により結露が発生するおそれがあります。
- 製品の設置および運搬は 2人以上で安全におこなってください。

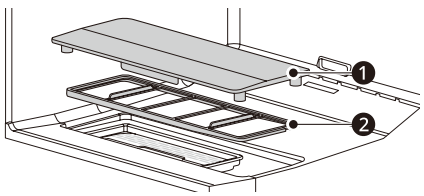
一般的なご注意

⃠ 禁止事項

- 運転中（室内の除湿のときを除く）にドアを開けないでください。
  温風やスチームによりカーペットを傷めたり、床や壁に水滴が付いてカビが発生する原因になります。
  また、製品の性能に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- スチームが出ているときは手や足などの身体をスチームに近づけないでください。
- 製品の下に手や足などの身体または金属製のものを入れないでください。
- 製品に問題が生じたときは庫内にある衣類を取り出してください。スチームにより衣類が損傷するおそれがあります。
- 小銭、ボールペンなどを温風循環口に入れないでください。
- 製品をお手入れするときは直接水をかけず、可燃性物質（アルコール、シンナー、ベンゼンなど）、歯磨き粉、研磨剤、液体洗剤または漂白剤（ハイターなど）をかけて拭かないでください。
- 給水タンクと排水タンクの中の水を飲まないでください。
- 衣類がドアに挟まらないようにドアを閉めてください。

○ 遵守事項

- 衣類のお手入れにのみ使用してください。
- 製品のドアを開閉するときは手や足を挟まないように注意してください。
- 使用前にほこりフィルターをお掃除してください。
  フィルターをお掃除しないと温風循環口が詰まり性能が低下することがあります。
- スマート照度センサーの正しい運転や集塵のために、糸くずフィルターカバー ❶ と糸くずフィルター ❷ を正しく取り付けてください。糸くずフィルターカバーの下部の鏡面はセンサーのための部品ですので、柔らかい布で清潔に保つようにお手入れしてください。



- 製品を修理するとき、部品は必ず LG 純正部品を使用してください。
- フィルターお手入れ後は必ず元の位置に取り付けてください。フィルターなしで製品を運転すると、製品は動作しません。

高圧ハンディスチーマーに関するご注意

⊘ 禁止事項

- 衣類以外には使用しないでください。
- スタイラーの給水タンクに水以外の洗剤、柔軟剤など他の液体を入れないでください。
- スチームで損傷するおそれのある衣類（機能性スポーツ衣類（ゴアテックス）、毛皮、革、人工皮革、コーティング加工素材など）には使用しないでください。
- 高圧ハンディスチーマー収納ボックスの部品が破損するおそれがあるため、スチーマーを強く引っ張らないでください。
- スチーマー使用中にスタイラーのドアと収納ボックスを閉じないでください。
  スチーマー収納ボックスカバーの角に当たってドアの内側への傷、
  収納ボックスカバーの破損や、スチームホースに傷がつくおそれがあります。

○ 遵守事項

- レーヨン素材の衣類は縮むおそれがあるため、弱 モードで使用してください。
- スチーマーの電源をオンにしてから初めて噴射するときは、周辺環境により凝縮水が噴射され衣類にシミが残ることがありますので、空中で 2〜3 回、1回につき2~3秒間噴射してから使用してください。
- 使用環境によってはスチーマーヘッドの近くやスタイラー製品の内部に水分が残ることがありますので、スチーマーを収納する前に乾いた布で水分を取り除いてください。
- スチーム噴射口が詰まったときはピンや爪楊枝で穴を開けてください。必ずスタイラーの電源をオフにして 30分以上十分に冷ましてから噴射口のお手入れをしてください。

LG ThinQ の使い方

LG ThinQ と LG家電を接続する

アプリのインストールし製品を登録する

LG ThinQ アプリをインストールするといつでもどこでも LG 家電を管理することができます。

QRコードが貼付してある製品

スマートフォンのカメラまたは QRコードリーダーアプリを使用して製品に貼付してある QRコードをスキャンしてください。

- QRコードが貼付してある場所は購入されたモデルにより異なる場合があります。



QRコードが貼付してない製品

1 **LG ThinQ** アプリを検索してインストールしてください。

- Android のスマートフォンをお持ちの方は、Google Play ストアで **LG ThinQ** アプリを検索してインストールしてください。
- iOS のスマートフォンをお持ちの方は、Apple アプリストアで **LG ThinQ** アプリを検索してインストールしてください。

2 インストールした **LG ThinQ** アプリを起動してログインします。

- 使用中のアカウントを利用してログインするか LG アカウントを作成してログインできます。

3 製品登録ボタン(+)を押してアプリの案内に従って製品を登録します。

知っておこう

- Wi-Fi名とパスワードは無線 LANに記載されています。Wi-Fiは 2.4 GHzを選択してください。**スタイラー**に搭載されたモデムが 5 GHz をサポートしていないため、5 GHz を選択した場合は製品を無線 LAN に接続できません。



- 無線 LAN の認証と暗号化方式は WPA2 を推奨します。
- ワイヤレスネットワークの接続品質は周囲のワイヤレス環境に影響を受けることがあります。障害が発生した場合は、インターネットサービスのプロバイダにお問い合わせください。
- **スタイラー**に搭載された Wi-Fi モジュールと無線 LAN を接続できない場合は、以下の方法で解決できます。
  – 無線 LAN にファイアウォールが設定されている場合は、例外の登録または解除してから続行してください。
- **スタイラー**と無線 LAN の間の距離が遠すぎると信号が弱くなります。信号が弱いと製品の登録に時間がかかったり失敗したりすることがあります。
- 無線 LAN のパスワードまたはインターネットサービスのプロバイダを変更したい場合は、**LG ThinQ**で登録した**スタイラー**を削除してから再度登録してください。
- 本説明書の内容は **LG ThinQ** アプリのバージョンにより異なることがあり、ユーザーに通知せずに変更される場合があります。

無線仕様

この無線設備は電波干渉のおそれがあるため、人命に関わる用途では使用できません。

無線通信方式	使用周波数	最大出力
Wi-Fi	2412 MHz～2472 MHz	< 12 mW/MHz
Bluetooth	2402 MHz～2480 MHz	< 3.6 mW

LG ThinQ アプリで製品を操作する

LG ThinQ 機能のご案内

リモート制御

- 製品の電源を入れてリモート制御機能を設定すると、いつでもどこでも製品を操作できます。

スマートお知らせ（Push メッセージ）

- コース終了や製品に異常が生じたときなどにメッセージでお知らせします。アプリ設定メニューの **Push メッセージ** 機能で有効/無効にできます。

スマート診断

- 製品の誤作動や故障が発生したときにスマート診断機能を使用すると、より便利に問題を解決できます。

エネルギーモニタリング

- 最近使用したコースや月間使用量を確認できます。

設定

- さまざまな機能を設定できます。

リモートで製品を使用する

LG ThinQ アプリと製品の操作部にあるリモート制御機能を通じて製品を使用します。

リモート制御を設定する

1 **電源** ボタンをタッチします。

2 製品にスタイリングする服をセットします。

3 **設定** ボタンをタッチ後 **リモート操作** ボタンをタッチしてリモート制御機能をオンにします。

4 **LG ThinQ** アプリで**スタイラー** を選択します。

5 **LG ThinQ** アプリでコースをタップします。詳細はアプリの説明に従って進めてください。

知っておこう

- コース選択とスタートは **LG ThinQ** アプリを使用してください。
- Wi-Fi 接続がされていない場合、リモート制御機能は使用できません。
- コース開始前にリモート制御を手動で設定・解除できます。コース終了時には自動的に解除されます。
- リモート制御の手動設定をしない場合でも、製品およびアプリでコースが開始されると、リモート制御機能を使用できます。

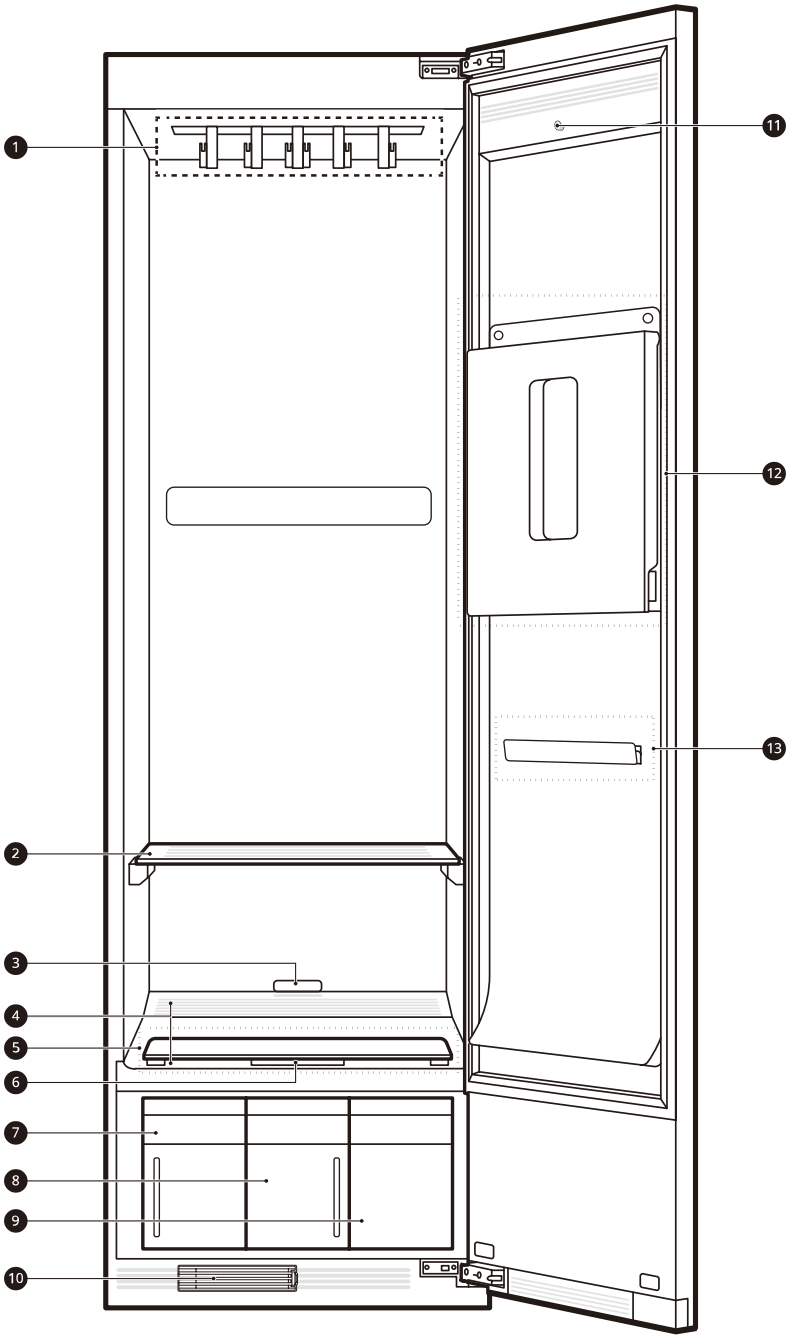
詳しく見る

スタイラーの外観と機能について

製品や付属品の形状は、購入されたモデルにより異なる場合があります。

スタイラー内部について

スタイラーの内部はモデルにより異なる場合があります。



❶ **振動ハンガーラック**

ハンガーが振動し、衣類に付いたほこりや花粉を落とし、しわを伸ばします。

❷ **棚**

ニット類や下着、マフラーなどを置きます。

❸ **スマート照度センサー**

製品の動作時、糸くずフィルターが取り付けられていることを確認して運転中の衣類落下を感知します。

衣類落下検知機能はスチームによる衣類の損傷を防ぐ機能で、スチームの準備と噴射時にのみ作動します。

下記の場合は衣類落下検知機能が作動しないことがあります。

- 衣類の丈が長く(約120～130cm)、センサーが隠れてしまう場合,コース開始前から衣類が落ちている場合
  – 作動時に衣類が落ちないよう、衣類のボタンやファスナーを閉めてください。ボタンやファスナーのない衣類は紐で固定してください。
- 糸くずフィルターカバーと糸くずフィルターが正しく取り付けられていない場合
  – 糸くずフィルターカバーと糸くずフィルターを正しく取り付けなおしてください。糸くずフィルターカバーのガイド(▽)が製品の正面を向くように取り付けます。
- 糸くずフィルターにほこりが溜まったり水が残っている場合
  – 製品を使用する前に糸くずフィルターをお掃除してください。
  お掃除が終わったら水分を完全に取り除いて糸くずフィルターを取り付けてください。
- 糸くずフィルターカバーの鏡面に異物が付着している場合
  – 糸くずフィルターカバーの下部の鏡面はセンサーのための部品なので、乾いた布で清潔に保つようにお手入れしてください。

❹ **温風循環口**

温かい風が出る場所です。

❺ **糸くずフィルターカバー**

使用する前にカバーを開けて糸くずフィルターを必ずお掃除してください。

- スマート照度センサーの正しい動作や、ほこり除去のためにカバーを正しく取り付けてください。
  下部の鏡面はセンサーのための部品ですので、乾いた布で清潔に保つようにお手入れしてください。

❻ **アロマフィルター**

衣類に香りを付けたいときに使用します。

❼ **排水タンク**

スチーム使用後の水を貯めるタンクです。

❽ **給水タンク**

スチームで使用する水道水を入れるタンクです。

❾ **高圧ハンディスチーマー収納ボックス**

高圧ハンディスチーマーを収納するボックスです。

❿ **除湿循環口フィルター**

室内除湿コースを使用するときに使う循環口のフィルターです。

⓫ **ハンガーホルダー**

スチーマーを使用するためのハンガーホルダーです。

⓬ **ズボン折り目ケア**

ズボンの折り目を保ちつつ、しわを伸ばす機能です。

⓭ **棚ホルダー**

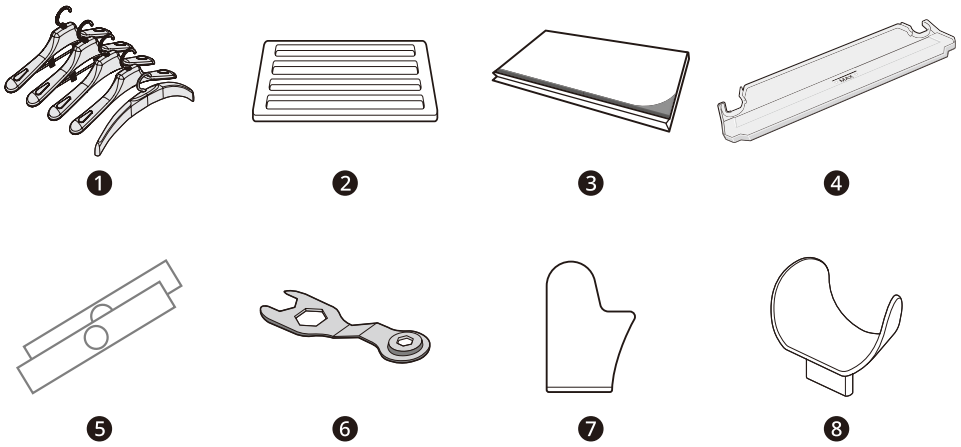
棚を取り外したときにかけて保管するホルダーです。

知っておこう

- 左側または右側の開閉方式を選択して設置できます。

付属品について

本製品には次のものが同梱されています。不足・欠品の場合は、販売店またはカスタマーセンターにお問い合わせください。



❶ ハンガー
- ハンガーの形状や提供する数はご購入されたモデルによって異なる場合があります。

❷ 棚

❸ アロマシート

❹ 水受けトレイ
- 製品の動作中に発生した水が床に落ちることを防ぐ部品です。

❺ ヒンジカバー
- 製品の上/下段のヒンジが外部に露出することを隠すための部品です。

❻ レンチ

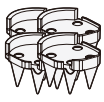
❼ 保護手袋
- 高圧ハンディスチーマーを使用するときに、高温の蒸気から手を保護するために保護手袋を着用してください。

❽ スチーマーホルダー
- 高圧ハンディスチーマーを置くための部品で、スチーマーホルダーに取り付けてご使用ください。

* 別売アクセサリーのご購入については、LGエレクトロニクスジャパンカスタマーセンターまでお問い合わせください。

別売アクセサリー

別売アクセサリーをお求めの際は、LG エレクトロニクスジャパンカスタマーセンターにお問い合わせください。

	
カーペット用設置スパイク/4本	背面用水平調節脚/ 2本

使い方

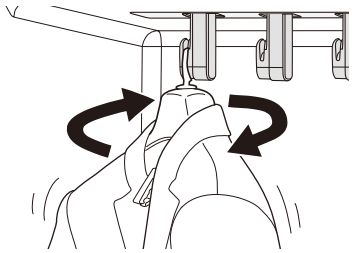
知っておくと便利な情報

リフレッシュのしくみ

お出かけ前や帰宅後に衣類をセットしておくだけで、衣類に付いたニオイを取り除き、ほこりや花粉を落とし、シワを伸ばしてリフレッシュします。スタイラー内にスチームが循環し、振動ハンガーラックによる振動との組み合わせによってリフレッシュした後衣類を低温でやさしく乾燥します。

振動ハンガーラックによるほこり・花粉除去とシワケア

振動ハンガーラックが振動して衣類に付いたほこりや花粉を払い落としながらシワを伸ばします。



スチームによる除菌や脱臭

水を加熱して発生したスチームが衣類を包み込むようにして循環し、衣類についたニオイをスチームに吸着させて取り除きます。

リフレッシュ時のスチームは 50～55℃となり、
除菌時のスチームは 65℃となります。

低温乾燥によるふんわりとした仕上がり

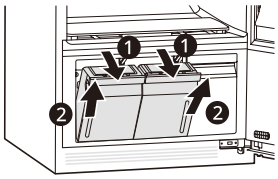
ヒートポンプユニット*1が湿気を取り除きながら温かく乾いた空気を吹き出し、衣類を低温でやさしく乾燥します。

*1 本機は空気中の熱を集めて熱エネルギーを得るヒートポンプ式を採用しています。
電気を熱に変えるヒーター式と比べ、エネルギー効率が良く、冷却水も使いません。さらに乾燥温度が低いため、衣類の傷みや縮みも抑えることができます。

スタイラーの使用方法

1 給水・排水タンクを確認します。

- 給水タンクに水がないときは水を補給し、排水タンクが満水のときは水を捨ててください。

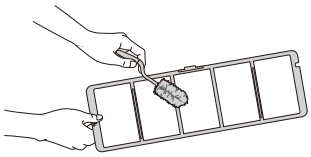


知っておこう

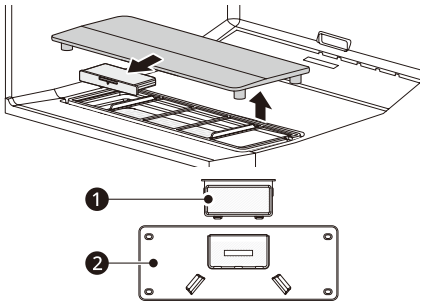
- 給水タンクが空の場合や、排水タンクが満水の時は、ディスプレイにアラームが表示されます。

2 糸くずフィルターが汚れているときはお手入れしてください。

- 水でお掃除した場合は水分を柔らかい布で拭くか自然乾燥させてから製品に取り付けてください。
  フィルターを完全に乾かさずに製品を使用すると性能が低下する場合があります。

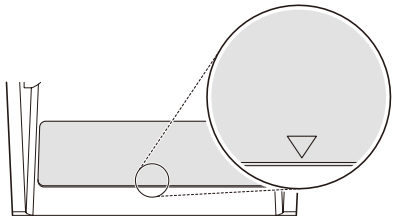


3 糸くずフィルターカバー ❷ の裏側のアロマシートケースにアロマシートを入れます。



4 糸くずフィルター ❷ と糸くずフィルターカバー ❶ を正しく取り付けてください。

- 糸くずフィルターカバーのガイド（▽）が製品の正面に向かうよう取り付けてください。



5 ハンガーに服をかけドアを閉めます。



6 **電源** ボタンをタッチします。電源がオンになります。

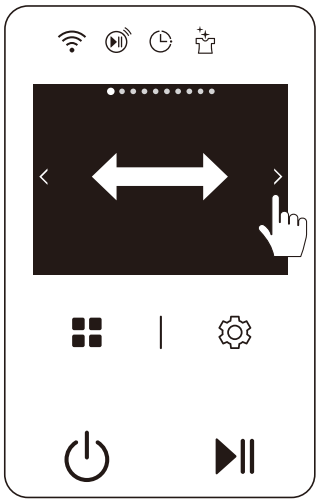


知っておこう

- 操作部はタッチ式です。以下を読んで操作してください。
  - 操作部に異物が付着していると作動しません。
    操作部をきれいに拭いてから使用してください。
  - 手袋をはめた手や他の物でタッチすると動作しません。

7 使用するコースを選択します。

- 画面を左/右にスワイプするか、以下のようにボタン(<、>)をタッチしてコースを変更できます。



知っておこう

- タッチディスプレイの左下の並び替え(▦)ボタンをタッチするとコースを 4分割画面で見ることができます。
- **設定** - **コースの自動並び替え** 機能を使って、使用頻度に応じてコースを並び替えることができます。
  - 5回以上使用したコースを基準として使用頻度を照会し、使用回数が多いコースは、コースリストの前半に再配列されます。
- **設定** - **コースリスト編集** 機能を使って、お好みのコースをリストから追加または削除できます。

8 **スタート/一時停止** ボタンを 1秒間タッチします。



⚠ 注意

- 製品の運転中は、絶対にドアを開けないでください。
  蒸気や凝縮した水により以下のような問題が発生するおそれがあります。
  - 水が床に落ちて、床を傷めることがあります。
  - 水が壁に染み込み、カビが発生することがあります。

9 運転が終わったら衣類を取り出します。

衣類を確認する

- スタイラーには洗濯機能はありません。汚れが付いた衣類は必ず洗濯してからご使用ください。
- 損傷を引き起こすおそれのある衣類の付属品（帽子の毛、革の付属品など）がある場合、可能な限り取り外してご使用ください。取り外せない場合は、**毛皮/革リフレッシュ** コースを使用してください。
- 長期間保管していたり油系のニオイがついている衣類はニオイが落ちにくいことがあります。
- ニオイの強い衣類は分けて使用してください。ニオイが他の衣類に移るのを防ぐためです。
- 綿、麻、リネンの衣類は素材の特性上、しわが伸びにくいことがあります。

スタイラーで使用可能な衣類

下記に表示された衣類は、それぞれのおすすめコースに従って使用してください。

カテゴリー	衣類の種類	主な素材	使用上の注意
アウター	ジャケット、コート、制服	綿、ポリエステル、ナイロン、その他合成繊維混紡	
		ウール / ウール混	**スーツ/コートリフレッシュ** コースを使用
		カシミヤ / カシミヤ混	**スーツ/コートリフレッシュ** コースを使用
		麻、リネン	乾燥するときは **デリケート低温 乾燥** コースの使用をおすすめします
		毛皮	**リフレッシュ 毛皮/革** コースを使用
		革	**リフレッシュ 毛皮/革** コースを使用
	ジャンパー	綿、ポリエステル、ナイロン	
	綿ダウンジャケット	ポリエステル、ナイロン	**ダウンジャケット リフレッシュ**、**ダウンジャケット 乾燥** コースの使用をおすすめします
		ウール混	**スーツ/コートリフレッシュ** コースを使用
トップス	Tシャツ	綿、レーヨン、ポリエステル、ナイロン、その他合成繊維混紡	
	シャツ、ブラウス、ワンピース	綿、ポリエステル、レーヨン	レーヨン、リネンの衣類を乾燥するときは **デリケート低温 乾燥**コースの使用をおすすめします
		シルク	**リフレッシュ シルク** コースを使用
		リネン、麻	糊付けされた衣類は、高温で糊の成分が変色したり表面が損傷したりするおそれがあるため使用の際は注意が必要
	ニット類（セーター、カーディガン）	綿、ポリエステル、アクリル、その他合成繊維混紡	乾燥するときは、棚乾燥またはニット専用ハンガーの使用をおすすめします
		ウール / ウール混	**ウール/ニットリフレッシュ** コースを使用 乾燥するときは、棚乾燥またはニット専用ハンガーの使用をおすすめします
		カシミヤ / カシミヤ混	**リフレッシュ カシミア** コースを使用 乾燥するときは、棚乾燥またはニット専用ハンガーの使用をおすすめします

カテゴリー	衣類の種類	主な素材	使用上の注意
ボトムス	スーツのズボン、スカート	ポリエステル、ナイロン、レーヨン	
		ウール	**スーツ/コートリフレッシュ** コースを使用ズボンの場合は**ズボン折り目ケア**コースを使用
	カジュアルパンツ、スカート	綿、デニム	
		ポリエステル、ナイロン、レーヨン	
特殊衣類	スポーツウェア（ゴルフ、フィットネス、登山）	綿	
		ポリエステル、ナイロン、ポリウレタン	**スポーツウェア リフレッシュ** コースを使用する。 薄手のナイロン素材は棚の使用をおすすめします。
	ヨガ、ピラティス	ポリエステル、ナイロン、ポリウレタン	**ヨガ服 リフレッシュ**、**ヨガウェア 乾燥** コースを使用
	水着 / ラッシュガード	ポリエステル、ナイロン、ポリウレタン	乾燥の際は、**水着 乾燥** コースを使用
下着	下着、パジャマ、靴下、タオル	綿、ポリエステル、レーヨン、ポリウレタン	
	ブラジャー、ランジェリー類	ポリエステル、ナイロン、ポリウレタン	乾燥するときは **デリケート低温 乾燥** コースの使用をおすすめします。
ファッション小物	ファッション小物（帽子、バッグ、ぬいぐるみ、マフラー）	綿、ポリエステル、ナイロン	
		ウール	**ウール/ニットリフレッシュ** コースを使用
		シルク	**リフレッシュ シルク** コースを使用
寝具	寝具類（布団、枕、クッション、カバー、毛布）	綿	
		ポリエステル、ナイロン	
		麻（ラミー、ジュート）、レーヨン	糊付けされたラミー、ジュートの布団は使用できません

スタイラーで使用不可な製品

下記の製品は本機で絶対に使用しないでください。火災の発生や、乾燥による収縮、変形、変色のおそれがあります。

禁止品目	説明	禁止品目	説明
火災のおそれがある衣類	• 可燃性物質や油が付着している衣類 • 電気毛布、カーペット	**その他**	• スリップ、タイツ • 糊付けされた衣類 • ガラス繊維のもの • 動・植物性中綿を使用した布団（中綿：ダック、グース、羊毛、木綿など） • マイクロファイバー素材の衣類や布団
ゴムやプラスチック	• テーブルクロス • バスマット • ゴムマット • 発泡ゴム（ラテックスフォーム）		
熱に弱い衣類	• レース製品 • 接着剤を使用した衣類 • スタイ、椅子カバー • ラミーを使用した衣類 • レインコート、カーテンなどの薄手の化学繊維 • ベルベット素材の衣類、絹の衣類		

高圧ハンディスチーマーが使用できる衣類

以下に表示された衣類は、それぞれのおすすめモードに従ってスタイリングしてください。

カテゴリー	衣類の種類	主な素材	使用上の注意
アウター	ジャケット、コート、制服	綿、麻、リネン	
		ポリエステル、ポリウレタン混紡製品、レーヨン、アセテート	**弱** モードをおすすめします。 スチーマーヘッドを密着させずに衣類から離して噴射（5〜10cm）（特にレーヨン素材は収縮にご注意ください。）
		ウール / ウール混	スチーマーヘッドを密着させずに衣類から離して噴射（5〜10cm）
		カシミヤ / カシミヤ混	
	ジャンパー	綿	
		ポリエステル、ナイロン	スチーマーヘッドを密着させずに衣類から離して噴射（5〜10cm）
	綿ダウンジャケット	ポリエステル、ナイロン、ウール混	**弱** モードをおすすめします。
トップス	Tシャツ、シャツ	綿、麻	
		ポリエステル、その他合成繊維混紡	スチーマーヘッドを密着させずに衣類から離して噴射（5〜10cm）
	ブラウス、ワンピース	綿、ポリエステル、リネン	
		レーヨン	**弱** モードをおすすめします。 スチーマーヘッドを密着させずに衣類から離して噴射（5〜10cm）
	ニット類（セーター、カーディガン）	綿、ポリエステル、その他合成繊維混紡	
		ウール/ウール混、カシミヤ/カシミヤ混	スチーマーヘッドを密着させずに衣類から離して噴射（5〜10cm）
ボトムス	スーツのズボン、スカート	ポリエステル、ナイロン、ウール	スチーマーヘッドを密着させずに衣類から離して噴射（5〜10cm）
	カジュアルパンツ、スカート	綿、デニム	
		ポリエステル、ナイロン、レーヨン	スチーマーヘッドを密着させずに衣類から離して噴射（5〜10cm）
下着	下着、パジャマ、靴下、タオル	綿	
		ポリエステル、ナイロン、ポリウレタン	スチーマーヘッドを密着させずに衣類から離して噴射（5〜10cm）
	ブラジャー、ランジェリー類	ポリエステル、ナイロン、ポリウレタン	スチーマーヘッドを密着させずに衣類から離して噴射（5〜10cm）
特殊衣類	スポーツウェア（ゴルフ、フィットネス、登山）	綿	
		ポリエステル、ナイロン、ポリウレタン	スチーマーヘッドを密着させずに衣類から離して噴射（5〜10cm）
	ヨガ、ピラティス	ポリエステル、ナイロン、ポリウレタン	スチーマーヘッドを密着させずに衣類から離して噴射（5〜10cm）

高圧ハンディスチーマーが使用できない製品

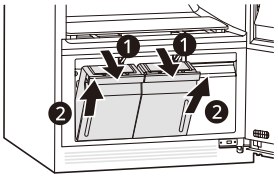
下記の品目は本機で絶対に使用しないでください。火災が発生したり乾燥すると収縮、変形、変色するおそれがあります。

禁止品目	説明	禁止品目	説明
機能性スポーツ衣類	• ゴアテックス	**特殊素材**	• 毛皮、革、合成皮革、コーティング加工された素材

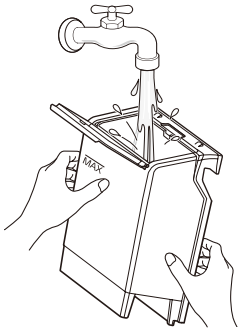
ご使用になる前に

タンクに水を入れる/空にする

1 給水タンクと排水タンクの取っ手を手前に引き、各タンクを取り出します。



2 給水タンクのふたを開き、「MAX」と書かれた線まで給水します。



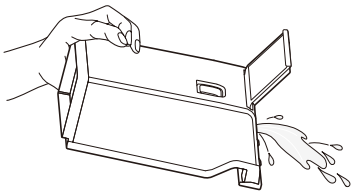
⚠ 注意

- 給水タンクに水以外の洗剤、柔軟剤など他の液体を入れると製品に問題が生じることがあります。
- 熱湯を使用すると製品に問題が生じることがあります。
- 精製されていない地下水を使用すると水中の不純物により製品の寿命が短くなることがあります。
- 排水タンクにある水を給水タンクに入れないでください。

知っておこう

- 給水タンクを満水にするとスタイリングコースを基準に4回程度使用できます。
- 購入後初めて製品を使用するときは水の使用量が多いため水の補充お知らせが発生することがありますので給水タンクに 2/3 以上の水を入れてください。2回目以降は水の使用量が減ります。

3 製品を約 3回以上使用した後、排水タンクを空にしてください。

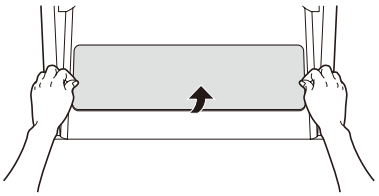


知っておこう

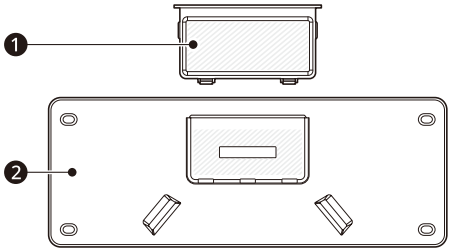
- **乾燥** コースを使用すると他のコースを使用するときよりも排水タンクに水が早く溜まります。

アロマシートをセットする

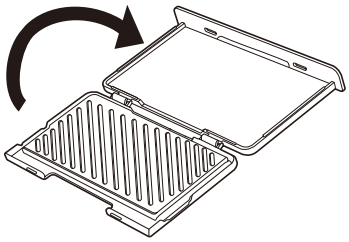
1 糸くずフィルターカバーを取り出します。



2 アロマシートケース ❶ を糸くずフィルターカバー ❷ の裏側から取り出します。



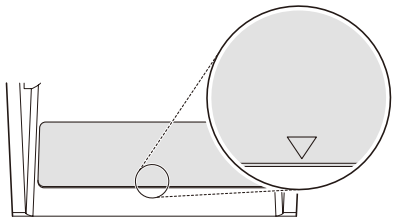
3 アロマシートケースを開けてアロマシートを入れ、アロマシートケースを閉じます。



4 アロマシートケースをフィルターカバーの裏側に入れます。

5 糸くずフィルターの上にフィルターカバーを正しく取り付けてください。

- 糸くずフィルターカバーのガイド(▽)が製品の正面を向くように取り付けます。



⚠ 注意

- 敏感肌の方はアロマの香りが肌へ刺激を与えることがありますので、アロマシートが直接肌に触れないようにしてください。触れてしまった場合は流水できれいに洗い流してください。
- アロマシートを使用の際に発生する蒸気によりアレルギーが発生した場合は、使用を中止し医師にご相談ください。
- スタイラー専用のアロマシートをご使用ください。

知っておこう

- アロマシート1枚につき、2~3回程度の運転が可能です。より豊かな香りをお求めの場合は 1〜2回ほどの使用で、シートを交換してください。
- スタイラー専用アロマシートの購入をご希望の場合はカスタマーセンターにご連絡ください。

衣類をセットする

振動ハンガーラックにセットする

1 ポケットの中のものをすべて取り出し、衣類をハンガーにかけます。
ファーやアクセサリーも取り外してください。

2 振動で衣類が落下しないよう、衣類のボタンやファスナーを閉めます。
ボタンやファスナーがない衣類は、綿素材の紐を襟に通して固定します。運転中にスチームノズル付近に衣類が落下すると高温のスチームにより衣類を傷めるおそれがあります。

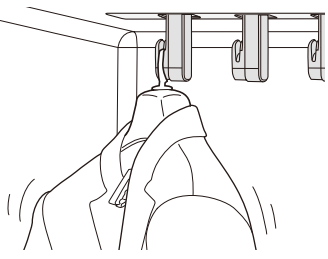


⚠ 注意

- スタイラー専用ハンガーを使用し正しくかけてください。一般的なハンガーの使用や、ハンガーに衣類を正しくかけていない場合、振動ハンガーラックの動きによってハンガーの破損、騒音の発生、衣類の落下などが生じることがあります。
  特に、落ちた衣類の素材によっては高温の蒸気で損傷することがあり、庫内に異臭が発生するおそれがあります。
- 衣類をハンガーに正しくかけない場合、運転中に衣類が落下し高温の蒸気で損傷することがあります。
- 振動ハンガーラックの中央の 2か所に溝がありますが、そこに衣類をかけないでください。衣類の乾燥性能に差が出ることがあります。

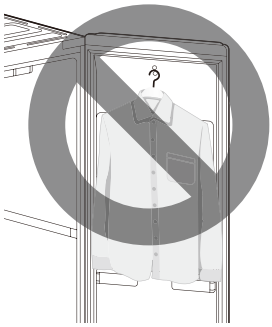
3 ハンガーを振動ハンガーラックにセットします。
衣類が重ならないよう、ハンガーを水平にセットします。

- 生地の種類や服の大きさにより首の後ろの部分にしわが生じることがあります。
- ハンガーはぶつからないように同じ方向にかけてください。
- 振動ハンガーラックは5着までかけることができます。
- 使用しないハンガーは製品から取り出して別途保管してください。



⚠ 注意

- ドアの内側のハンガーホルダーは高圧ハンディスチーマーを使用するためのものです。スタイラーを運転するときはハンガーホルダーに衣類をかけないでください。

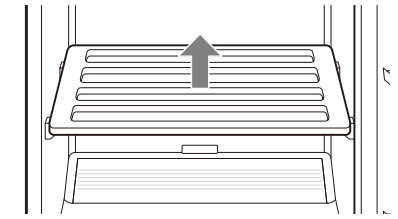


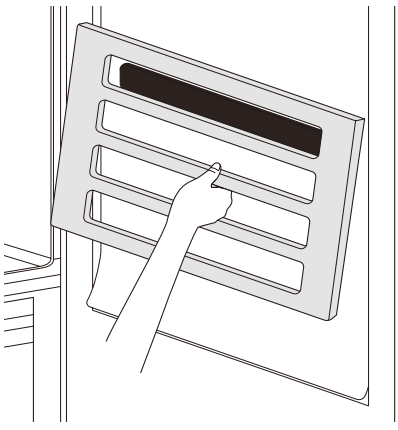
丈の長い服をかける

1 ポケットの中のものを取り出して衣類をハンガーにかけます。

2 振動ハンガーラックの作動により衣類が落下しないよう、衣類のボタンやファスナーを閉めます。ボタンやファスナーのない衣類は紐で固定してください。

3 棚が庫内に置かれている場合はドアの内側にある棚ホルダーにかけて保管してください。





4 衣類が重ならないようにハンガーを振動ハンガーラックにかけてください。

- 生地の種類や大きさにより首の後ろの部分にしわが生じることがあります。
- ハンガーはぶつからないように同じ方向にかけてください。
- 振動ハンガーラックは5着までかけることができます。
- 使用しないハンガーは製品から取り出して別途保管してください。
- 中央のラックは両方から衣類がかけられるようになっています。このラックを使用する場合は、服の間隔に合わせて、どちらか一方のラックを選び活用することができます。
- 丈の長い服はスチーム吹出口（中央）に触れないよう左側にかけてください。

ズボン折り目ケアにセットする

ズボンに折り目を付けたいときは、ドア側にあるズボン折り目ケアを使用します。

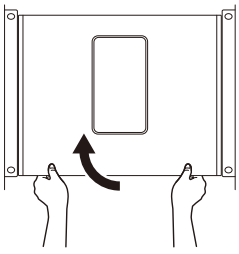
⚠ 注意

- ズボン折り目ケアを使用しないときはズボン折り目ケアのドアを閉めて製品を使用してください。

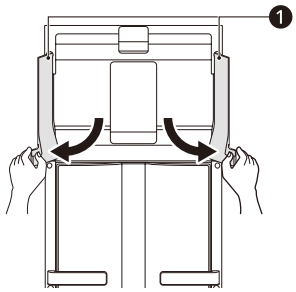
ズボン折り目ケアにセットする

しっかりとズボンに折り目を付けたい場合は、コースリストの編集からズボンスタイリングコースを追加して使用してください。

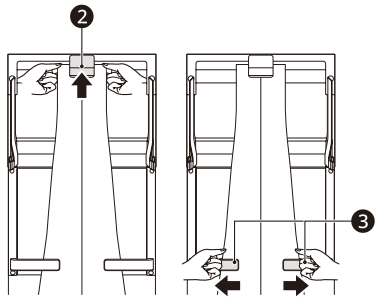
1 下に引っ張ってズボン折り目ケアのドアを開きます。



2 左右のズボン固定板 ❶ を開きます。

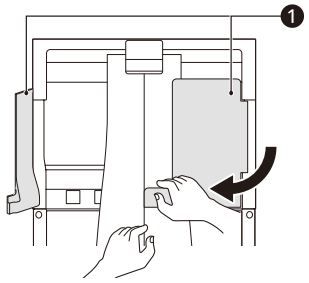


3 ズボンを固定ホルダー ❷ に押し込みます。左右のズボン折り目ケアクリップ ❸ にズボンをはめ込み、両側を引っ張ってしわを伸ばします。

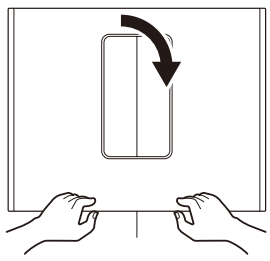


4 左右の固定板 ❶ を片方ずつ閉じます。

- ズボン固定板を同時に閉じるとズボンにしわがつくことがあります。



5 ズボン折り目ケアのドアを閉めます。



⚠ 注意

- ズボン折り目ケアを使用するときは製品のドアを全開にして使用してください。ズボン折り目ケアを開閉するときにぶつかって製品に傷がつくおそれがあります。
- クリップを強く引っ張らないでください。製品が破損することがあります。

知っておこう

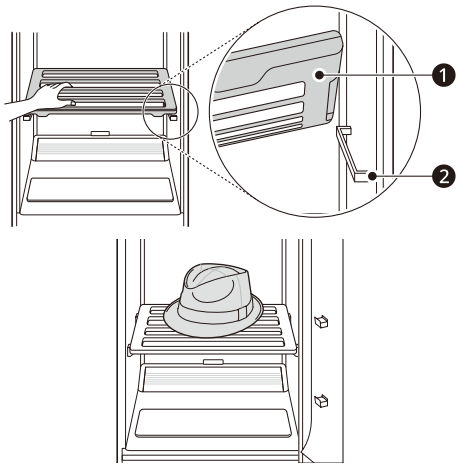
- 生地の種類によりしわの伸びる程度が異なることがあります。
- ズボンを乾燥させたい場合はズボンを振動ハンガーラックにかけて使用してください。
- ハーフパンツなど丈の短いズボンには、ズボン折り目ケアを使用できません。振動ハンガーラックにかけて使用してください。
- ズボンがグレーのゴムパッキンより長い場合はズボンがしわになったり製品が正常に作動しないことがあります。ご使用前にご確認ください。

棚にセットする

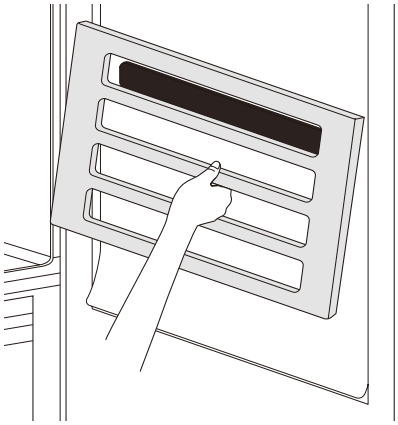
ニット類やデリケートな下着類、帽子、スカーフ、マフラー、ベビー用品などハンガーにかけられない衣類は棚に置きます。重ならないように置きます。

1 棚 ❶ の左右の溝を棚受け ❷ に合わせて取り付けます。

- 棚が正しく取り付けされていないと製品の動作中に棚板が落下しアクセサリーが破損するおそれがあります。



2 運転が終わったら棚をドアの内側にある棚ホルダーにかけて保管します。

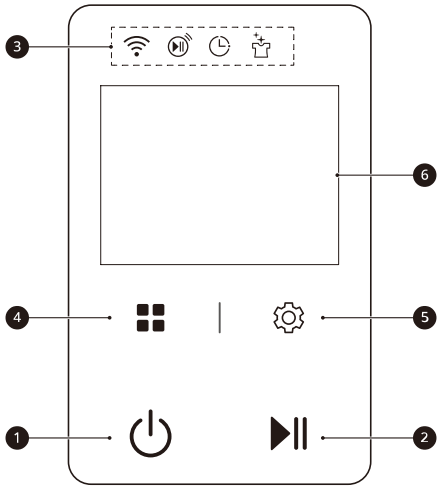


⚠ 注意

- 子供が乗らないようにご注意ください。子供が遊んでけがをするおそれがあります。
- 棚には衣類やアクセサリーのみ置いてください。
  重いものを置くと製品が破損するおそれがあります。
- 衣類によっては棚の跡が残る場合があります。

コースの選び方

操作部



❶ **電源ボタン**

- タッチして電源をオン／オフします。
- 製品の運転中に電源をオフにするときは 1秒以上長押ししてください。
  – 製品のドアが開いた状態で電源をオン/オフしたい場合は、3秒以上長押ししてください 。
  ただし、高圧ハンディスチーマーが運転中の場合は、製品のドアが開いている状態で電源を 1秒以上長押しするとオフになります。

❷ **スタート/一時停止ボタン**

- コースをスタート／一時停止します。スタートするときは1秒間タッチしてください。
- 一時停止状態が一定時間続くと電源は自動でオフになります。

❸ **表示灯**

- **Wi-Fi**、**リモート操作**、**予約**、**カラッとキープ** 機能を設定すると点灯します。
- :Wi-Fi機能が有効です。
- :リモート操作が有効です。
- :予約機能を設定すると表示されます。
- :カラッとキープを設定すると表示されます。

❹ **並び替えボタン**

- コースリストを分割画面で表示する機能です。

❺ **設定**

- **設定** ボタンをタッチするとさまざまなオプションや詳細機能を設定できます。

❻ **タッチディスプレイ**

コース選択や設定変更が可能です。

知っておこう

- タッチボタンは物理的な操作がない場合であっても、人がボタンに近づいたり電気が通る物の静電気に反応して作動することがあります。
- タッチボタンは強く押さず、指で軽く触れるだけで作動します。

コースごとの用途を確認する

振動ハンガーラックとTrueSteamで外出前/外出後の衣類に付いたニオイを除去しほこりや花粉を払い落します。
スタイラーのコースごとの用途に合わせてご使用ください。

知っておこう

- コースごとの運転はタッチディスプレイ画面で確認できます。毛皮/革、カシミヤ/ウール、シフォン 、リネンのようなデリケートな衣類に除菌コースを使用すると生地を傷めることがあります。コースリストの編集は用途に合わせて使用してください。
  - スタイリングコースは **スチーム準備**、**スチーム噴霧**、**リフレッシュ**、**乾燥** の順で運転します。
  - 除菌コースは **スチーム準備**、**除菌**、**リフレッシュ**、**乾燥** の順で運転します。
  - 乾燥コースは **スチーム準備**、**乾燥** の順で運転します。
- 所要時間は水の温度、周囲の温度など使用環境により多少異なることがあります。
- 生地の厚さにより乾燥が均一にされないことがあります。
- 運転中にボコボコとお湯が沸騰する音やシューという音は、蒸気を作るためにお湯を沸かしてスチームを噴射する音ですので、故障ではありません。
- 冬季は製品周辺と庫内の温度差により蒸気が凝縮されて庫内に水分が残ることがあります。
- かさばる衣類や厚手の衣類をぎっしり詰め込んで使用すると、空気循環がスムーズに行われず庫内に水分が残ることが
- あります。庫内がいっぱいになるほど衣類を入れないでください。
- スタイラーはスチームを利用する製品のため運転終了後は庫内に水分が残る場合があります。保管オプションを設定すると、衣類の乾燥と庫内の水分除去に役立ちます。
- 水分が多く残っている衣類の場合、乾燥時間が長くなったり乾燥できないまま終了することがあります。
- 洗濯機で脱水後**乾燥** コースを使用してください。

コース	詳細説明
標準 リフレッシュ	手軽にスタイリングしたいときに使用します。
おいそぎ リフレッシュ	しわやニオイの少ない衣類を短時間でスタイリングしたいときに使用します。
しっかり リフレッシュ	しっかりとスタイリングがしたいときに使用します。
スーツ/コート リフレッシュ	スーツ/コートをスタイリングするときに使用します。
ウール/ニット リフレッシュ	ウール/ニット類の生地をふんわりと仕上げるときに使用します。 **知っておこう** • 薄手のウール/ニットの場合、衣類が伸びたりハンガーの跡がつくことがあるので、専用ハンガーを使用するか棚に置いてお使いください。 • 衣類の特性上、変形することがあります。
シルク リフレッシュ	シルク類の生地をスタイリングしたいときに使用します。 **知っておこう** • 生地を傷めるおそれがあるため、シルク衣類に他のコースは使用しないでください。 • ワンピースなど丈が長い服はスチーム吹出口（中央)が隠れないように、左側にかけてください。 • 服が落下しないようにボタンやファスナーを閉めてください。 • シルク素材の特性上、縫い目の部分にしわが生じる場合がありますが、これは衣類の損傷ではありません。 • シルクリフレッシュコースは生地を保護するため、他のコースより乾燥温度が低く設定されています。これにより 多少湿り気を感じる場合があります。
カシミア リフレッシュ	カシミヤ類のニットをスタイリングしたいときに使用します。

コース	詳細説明
AI リフレッシュ	衣類 1着分のコースです。衣類の状態に合わせて最適な条件にスタイリングしたいときに使用します。 • 衣類の重さと丈の長さを感知して適切な運転条件を自動で設定します。使用しないハンガーは取り外してください。 • 衣類検知により運転時間が長くなることがあります。
微細ほこり(PM) リフレッシュ	衣類についたほこりや花粉を落としたいときに使用します。
標準 除菌	お好みの衣類を除菌したいときに使用します。
しっかり 除菌	ウイルスを除菌したいときに使用します。
AI 乾燥	衣類の状態に合わせて乾燥したいときに使用します。 • 衣類の重さを検知して適正な運転条件を自動で設定します。
時間設定 除湿	スタイラーが設置された部屋の空気を除湿したいときに使用します。 • **時間設定 除湿**コースは **設定** ボタンをタッチして 2時間または 4時間の設定が可能です。 • 室内の除湿に使用できます。除湿能力は1日8Lです。使用環境や運転条件により、除湿量は異なる場合があります。 • 排水タンクが満水になるとアラーム音と共に **水捨て** お知らせが表示されます。排水タンクの水を空にして **開始/一時停止** ボタンをタッチすると再び運転します。 **知っておこう** • **時間設定 除湿**コースをご利用になる前に排水タンクを空にして使用してください。 • スタイラーから出る空気により室内の温度が少し上昇することがあります。 • 周辺の湿度が低い場合、**時間設定 除湿**コースが自動で終了することがあります。
毛皮/革 リフレッシュ	毛皮や革の湿気やほこりを取り除き、保管中や日常使用でつぶれた毛皮のボリュームを取り戻したいときに使用します。 **知っておこう** • 毛皮/革メーカーがおすすめするお手入れ方法に従ってください。 • このコースでは専門業者レベルのように汚れを落としたり光沢を出すことはできません。 • 毛皮は 1着だけをかけて使用してください。毛が潰れるおそれがあります。 • 毛が固まることがありますので雪や雨で濡れた衣類は乾いたタオルで一度拭いてからご使用ください。 • 生地にニオイがつくのを防ぐため、毛皮/皮のスタイリングコースを使用する前に、2〜3回庫内に衣類を入れていない状態（庫内空）で**標準 除菌**コースにてリフレッシュさせた後、香りシートを入れて本コースを使用してください。 • ボタンやファスナーをすべて閉めて振動ハンガーラックにかけてください。衣類がハンガーから落ちて損傷するおそれがあります。
時間設定 乾燥	洗濯と脱水が終了した衣類を、時間を設定して乾燥させたいときに使用します。 • 初回選択時は **30分** に設定されています。、**時間設定** ボタンをタッチして最大 **3時間** まで設定できます。
花粉ケア 除菌	衣類の花粉を落としたいときに使用します。

⚠ 注意

- 毛皮/革メーカーがおすすめするお手入れ方法に従ってください。毛が潰れるおそれがあります。
- 雪や雨で濡れたときは乾いたタオルでふき取ってから使用してください。毛が固まるおそれがあります。
- ジーンズは色落ちすることがあるため洗濯ばさみでつまんで振動ハンガーラックにかけて使用してください。
- スチームで損傷するおそれのあるデリケートな衣類（例.毛皮/革、カシミヤ/ウール、シフォン、リネン素材など）は専用コースを使用してください。

コースリスト

設定 - **コースリストの編集**からさまざまなコースが使用できます。

コース	用途
シャツ1枚 乾燥	TrueSteamの追加で、衣類の乾燥と同時にしわを伸ばしたいときに使用します。 • 洗濯と脱水後に自然乾燥した衣類をスタイラーで乾燥させることができます。 **知っておこう** • 素早くしわを伸ばしながら乾燥する少量おいそぎコースです。衣類（シャツやTシャツ）1着対象のコースです。 • 革、毛皮など湿気に弱い生地の衣類はTrueSteamで傷むことがあるため使用しないでください。
寝具 除菌	頻繁に洗濯できない寝具や枕を清潔に保ちたいときに使用します。
ダウンジャケット 乾燥	洗濯と脱水が終了したダウンジャケットを乾燥させながら、ボリュームを保ちふんわりと仕上げたいときに使用します。 **知っておこう** • すすぎと脱水が終了していない状態で乾燥させると洗剤が残り、乾燥後の衣類にしみやニオイが生じることがあります。 • 綿ダウンジャケットは 1度に 1着だけをかけて使用してください。 • 羽毛ダウンジャケットは運転終了後に羽毛が服の内部で固まりボリュームがなくなることがあります。手のひらや空のペットボトルなどで服を軽くたたくとボリュームが戻ります。
ダウンジャケット リフレッシュ	綿ダウンジャケットのボリュームを生かしてふんわりと仕上げたいときに使用します。 **知っておこう** • かさばる綿ダウンジャケットを何枚も入れると乾燥性能が低下することがあります。1着ずつ使用してください。
ヨガウェア 乾燥	洗濯と脱水が終了したヨガ/ピラティスウェアをふんわり仕上げたいときに使用します。
デリケート低温 乾燥	洗濯と脱水が終了した衣類を低温で傷めることなく乾燥させたいときに使用します。 **知っておこう** • 洗濯すると衣類が伸びたりハンガーの跡がつくことがあるので、ハンガーを使わず棚に置いて使用してください。
カラッとキープ リフレッシュ	次の着用までご家庭などで保管したいときに使用します。
制服 リフレッシュ	毎日の洗濯がむずかしい制服のしわを減らしすっきりスタイリングしたいときに使用します。
スポーツウェア リフレッシュ	ゴルフウェア、ウィンドブレーカーなどのスポーツウェアをさわやかにスタイリングしたいときに使用します。
雨/雪の日 乾燥	雪や雨の天候で、少し湿った衣類を乾燥させたいときに使用します。
毛布温め ケア	冬に毛布を温めたいときに使用します。 **知っておこう** • 毛布を棚の上に置くかハンガーにかけて洗濯ばさみなどで落ちないように固定してご使用ください。

コース	用途
スカーフ リフレッシュ	マフラーやスカーフのニオイを取り除いて保管したり、着用したいときに使用します。 **知っておこう** • マフラーを棚の上に置くかハンガーにかけて洗濯ばさみなどで落ちないように固定してから使用してください。
水着 乾燥	水着を傷めることなく乾かしたいときに使用します。
ベビー服 除菌	菌が気になるベビー服を除菌したいときに使用します。 **知っておこう** • 毛皮/革、カシミヤ /ウール、シフォン、リネンのようにデリケートな衣類に除菌コースを使用すると、衣類を傷めることがあります。
古着 リフレッシュ	長期間の保管で、湿気やニオイが気になる衣類をさわやかにスタイリングしたいときに使用します。 **知っておこう** • 季節の変わり目に衣替えする前や、保管した衣類をクローゼットにかける前に使用すると、クローゼット内を快適に保てます。
コート温め ケア	冬の外出前にコート、手袋、マフラーを温めたいときに使用します。
ヨガ服 リフレッシュ	ヨガやピラティスの衣類をさわやかにスタイリングしたいときに使用します。
ウール/ニット 乾燥	ウール/ニットの衣類など、デリケートな生地の風合いを生かして乾燥させたいときに使用します。 **知っておこう** • 洗濯すると衣類が伸びたりハンガーの跡がつくことがあるので、ハンガーを使わず棚に置いて使用してください。 • 衣類の素材によっては服が縮むことがあります。
ぬいぐるみ 除菌	菌が気になるぬいぐるみを除菌したいときに使用します。 **知っておこう** • 毛皮/革、カシミヤ /ウール、シフォン、リネンのようなデリケートな衣類に除菌コースを使用すると、衣類を傷めることがあります。
梅雨の日 乾燥	梅雨の時期に洗濯物をふんわり乾かしたいときに使用します。
スーツ/制服 除菌	毎日の洗濯ができないスーツや制服をすっきり除菌したいときに使用します。
静電気除去 ケア	コート、セーターなど、冬に静電気が発生しやすい衣類を着用前に使用します。
ナイト リフレッシュ	深夜や早朝に静かにスタイリングしたいときに使用します。 **知っておこう** • 標準のスタイリングよりも時間がかかることがあります。
ジーンズ リフレッシュ	ジーンズのように頻繁に洗濯すると色移りや色落ちが気になる衣類をすっきりスタイリングしたいときに使用します。 **知っておこう** • ジーンズから色落ちした染料が製品の壁面や床に染み込むことがありますので、洗濯ばさみを使って振動ハンガーラックにかけてください。

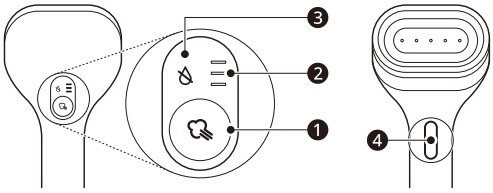
コース	用途
ニットカーディガン リフレッシュ	ニット素材のカーディガンをラウンドハンガーにかけてスタイリングするときに使用します。 **知っておこう** • **ニットカーディガン リフレッシュ** コースを運転中に、スタイラーの一般的なハンガーを使用すると服が変形することがありますのでご注意ください。 • 前開きでないニットや厚手のセーター類は棚の上に置いて使用してください。ハンガーを使用するとハンガーの跡が残ったり、湿気で服が伸びてしまうことがあります。 • 洗濯/脱水したニット素材のカーディガンは使用しないでください。
ズボンの リフレッシュ	ズボンのしわを伸ばしたいとき、折り目をつけたいときに使用します。

知っておこう

• **LG ThinQ** アプリでさまざまなコースを追加でダウンロードすることができます。

高圧ハンディスチーマーを使用する

操作部



❶ **スチームモードボタン**

ボタンを 2秒間以上長押しするとスチーマーをオン/オフにできます。スチーマーがオンの状態で短くタッチするとスチーム噴射モードを変更することができ、**強** - **弱** - **中** の順にスチームモードを調節できます。

❷ **スチームモード表示ウィンドウ**

強 - **弱** - **中** のスチームモード、スチーム準備中、スチーム準備完了の状態を確認できます。

❸ **タンク通知表示ウィンドウ**

給水タンクに水がないとき排水タンクが満水のときに表示されます。給水タンクまたは排水タンクを確認してください。

⚠ 注意

- 給水タンクに水が残っていても安全のためにタンクお知らせが表示されることがあります。

❹ **スチーム噴射ボタン**

スチーム噴射ボタンをタッチするとスチームが噴射されます。

スチームモードの設定

スチームモードボタンをタッチしてスチーム強度を **強** - **弱** - **中** の順に調節できます。

- スチーム準備中は、スチームモード表示ウィンドウの上段が点滅します。スチームの準備が完了するとお知らせ音が鳴り、表示ウィンドウが点灯したままになります。
- スチームモード設定は**高圧 ハンディスチーマー が使用できる衣類** をご覧ください。

☰	強モードは、綿、麻素材や厚手の衣類に適したモードです。
二	中モードは、一般的な衣類に適したモードです。
ー	弱モードは、湿気に弱い衣類に適したモードです。

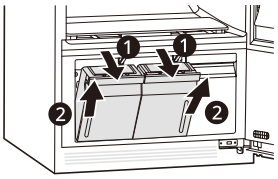
知っておこう

- **強** モード使用の際は、最も強力なスチームが約5秒間噴射されます。スチーム噴射ボタンをタッチし続けるとスチームの強さは徐々に弱くなります。スチーム噴射ボタンをタッチせずに約 15秒間待つと再び最も強力なスチームを使用できるようになります。
- スチーマー使用中にモードを変更するとモードごとに設定されたスチーム強度になるまで時間が多少かかる場合があります。

高圧ハンディスチーマーの使用方法

1 タンクを確認します。

- 給水タンクに水がないときは水を入れ、排水タンクが満水のときは空にしてください。



知っておこう

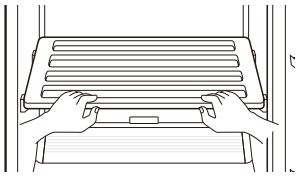
- スタイラーの給水タンクに水以外の洗剤、柔軟剤など他の液体を入れないでください。

2 ドアを閉めて **電源** ボタンをタッチします。

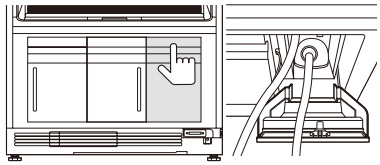
- 製品のドアが開いた状態で電源ボタンを 3秒以上長押ししてください。



3 ドアを開けて棚を取り付けます。



4 スタイラーの下部のスチーマー収納ボックスを押して開き、スチーマーを取り出します。

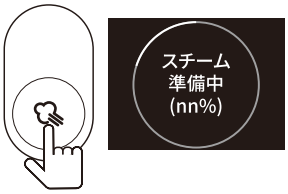


⚠ 注意

- スチーマー使用中にスタイラーのドアと収納ボックスを閉じないでください。スチーマー収納ボックスカバーの角に当たってドアの内側に傷がついたり、収納ボックスカバーが破損したりスチームホースに傷がつくおそれがあります。

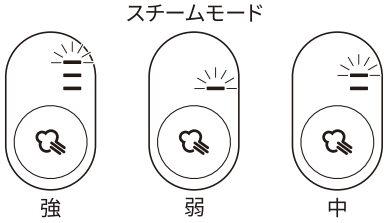
5 **スチームモード** ボタンを約 2秒間長押しします。

- 初期のスチーム噴射モードは **強** モードで設定されています。



6 **スチームモード** ボタンを短くタッチしてお好みのスチームモードを選択します。

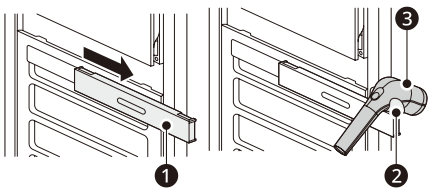
- ボタンをタッチすると **強** - **弱** - **中** の順にスチーム噴射モードが変更されます。
- 噴射モード表示ウィンドウが以下のように点滅して約 4分間スチームの準備をします。



知っておこう

- 準備中とスチーマー使用中、給水されるときに給水ポンプから騒音が発生することがあります。高圧蒸気発生用のポンプのため、給水音が多少大きく聞こえることがあります。

7 スチームを準備中、スチーマーを使用中、使用後に衣類を片付ける際は、スライディングスタンド❶を横に引き出した後、着脱式スチーマーホルダー❷を取り付けて、高圧ハンディスチーマー❸をセットしてください。

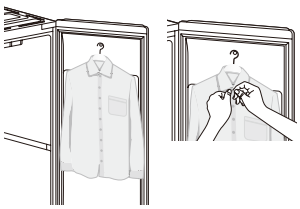


⚠ 注意

- スチーマーホルダーにスチーマーを掛けたまま、ドアを閉めないでください。スチーマーがぶつかってけがをしたり、製品が破損したりするおそれがあります。
- ドアを閉める前に、必ずスライディングスタンドを元の位置に戻してください。スライディングスタンドを引き出した状態で、寄りかかったり押したりしないでください。
- スライディングスタンド❶が横に引き出されていないと、スチーマーをセットできません。

8 衣類をハンガーにかけてからハンガーホルダーにハンガーをかけてください。

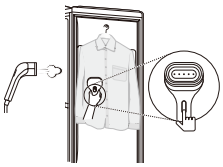
- 衣類が落下することがあるため、スタイラー専用ハンガーに衣類をかけ、服のボタンを閉めて使用してください。



9 スチームモード表示ウィンドウの点滅が消えるとスチームの準備が完了します。



10 初めてスチームを噴射するときは周辺の環境により凝縮水が噴射されることで衣類にシミが残ることがあります。スチームを空中で 2〜3回、1回につき2~3秒間噴射してから使用してください。



⚠ 注意

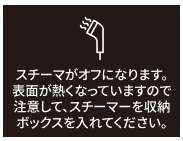
- やけどのおそれがあるため付属品の保護手袋は衣類をつかむ手に着用して、スチーマーを使用してください。
- 周りに人や動物がいないことを確認してスチームを噴射してください。

知っておこう

- スチーマーの連続使用時間は、衣類の素材、サイズ、使用モードなど、お客様の使用パターンによって異なる場合があります。
- スチーマーを連続して使用する場合、蒸気を発生させるのに多少時間がかかるため、一時的に蒸気が出ないことがあります。しばらくお待ちいただければ、蒸気が発生し、再びスチーマーをご使用いただけます。

11 使用後は、**スチームモード**ボタンを約 2秒間タッチしてスチーマーの使用を終了します。

- スチーマーを棚の上に置いて約 5分以上、十分に冷ましてください。



12 スチーマーを収納ボックスに入れます。

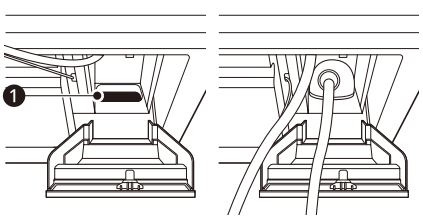
- 収納ボックス内側の断熱パッドにスチーマーヘッドを置きます。
- スチームホースを折りたたんで収納ボックスに入れます。
- 詳細は**高圧 ハンディスチーマーの収納方法**をご参照ください。

⚠ 注意

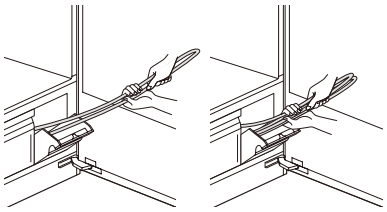
- 使用後はスチーム噴射口とドア周辺に残っている水分を乾いた布で拭いて収納してください。

高圧ハンディスチーマーの収納方法

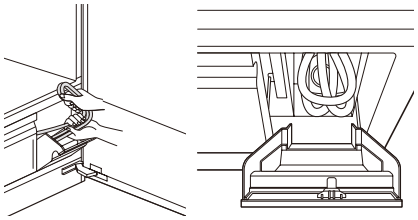
1 収納ボックスの内側の断熱パッド ❶ にスチーマーヘッドを置きます。



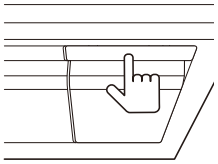
2 スチームホースの両端と真ん中を持って半分に折ります。



3 スチームホースをもう一度折りたたんで収納ボックスに入れます。



4 スチーマー収納カバーを閉じます。



設定する

設定リスト

電源-**設定**(⚙) ボタンをタッチするとさまざまな機能を使うことができます。

知っておこう

- **設定** を選択してから数分間操作が行われないと元の画面に戻ります。

予約の設定

運転完了時間を1時間単位で設定します。
3時間～19時間の範囲で設定できます。

1 **電源** ボタンをタッチします。

2 お好みのスタイリングコースを選択します。

3 設定リストに進み **予約** ボタンをタッチして予約時間をセットします。

4 **開始/一時停止** ボタンを 1秒間タッチします。

- 予約をキャンセルする場合は **予約** ボタンをタッチして **取り消し** または **予約なし** を選択します。

知っておこう

- **予約**設定後にコースを変更すると **予約** の設定が解除されます。

庫内での保管設定

運転終了後に衣類が残っていると、衣類のふんわり感が失われることがあります。夕方に入れた衣類を翌朝までふんわりと保ちたい場合は、この機能を使用してください。

1 **電源** ボタンをタッチします。

2 お好みのスタイリングコースを選択します。

3 設定リストに進み **カラッとキープ** ボタンをタッチして保管機能を設定します。

4 **開始/一時停止** ボタンを 1秒間タッチします。

5 運転終了後に庫内での保管が開始されます。

- 保管機能の運転中に **電源** ボタンをタッチしたりドアを開けたりすると保管機能が停止します。

知っておこう

- 衣類をふんわりした状態で保管するために空気を温める運転音が定期的に鳴ることがあります。
故障ではありませんのでご安心ください。

ロック機能

電源 ボタン以外は、製品の他のボタンをタッチしても作動しないように機能をロックしたり解除したりできます。

ボタンをロックする

1 **設定** ボタンをタッチします。

2 ロックボタンをタッチすると **電源入** 表示とともにロック機能が設定されます。

- オンの表示が出る前に他のボタンをタッチすると機能は設定されません。

ボタンのロック解除

1 ロック状態で画面をタッチするか、**開始/一時停止**、**設定**、**コース自動並べ替え** ボタンをタッチすると、ボタンのロック解除画面が表示されます。

2 画面の 🔒 を 3秒間長押しします。

コースを自動で並び替える

使用頻度に応じてコースを並び替えたいときに使用します。

1 **設定** ボタンをタッチします。

2 コース自動並び替えボタンをタッチすると **電源入** または **電源切** を選択できます。

- 基本設定は **電源入** となっています。
- **コース自動並べ替え** 機能を **電源切** に設定すると、初期コースリストの並び順がそのまま維持されます。

コースリストの編集

お好みのコースをコースリストに追加したり削除したいときに使用します。

1 **電源** ボタンをタッチします。

2 **設定** ボタンをタッチして **コースリストの編集** を選択します。

3 **コースリストの編集** からお好みのコースを選択します。

- 画面を上/下にスワイプするとコースリストの移動ができます。
- 画面を上/下にスワイプして画面をタッチし続けるとコースリストが素早く移動します。
- コースリストにコースが追加されると、選択したコースのチェック表示が有効になります。
- コースリストからコースを削除すると、選択したコースのチェック表示が無効になります。

4 **戻る** ボタンをタッチしてコースリストを保存します。

知っておこう

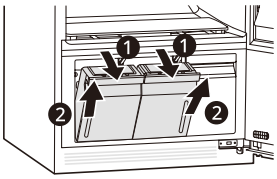
- **標準 リフレッシュ**、**AI リフレッシュ**、**リフレッシュ しっかり**、**標準 除菌**、**シャツ1枚 乾燥**、**AI乾燥** の 6つのコースは必須コースのため、コースリストから削除できません。
- **コース自動並べ替え** 機能や **LG ThinQ** アプリのユーザー編集機能を使用してコースリストの順序を変更することができます。

スチーマー洗浄機能

スチーマー内部の石灰などの不純物を洗い流すためにスチーマー洗浄機能を使用します。

1 タンクを確認します。

- 給水タンクに水がないときは水を入れ、排水タンクが満水のときは空にしてください。



⚠ 注意

- スタイラーの給水タンクに水以外の洗剤、柔軟剤など他の液体を入れないでください。

2 ドアを閉めて **電源** ボタンをタッチします。

- 製品のドアが開いた状態では電源ボタンを 3秒以上長押ししてください。

3 **設定** ボタンをタッチします。

4 **スチーマー クリーニング** をタッチするとスチーム発生器の洗浄を開始します。

- 約 3分間スチーマー洗浄が行われます。
- スチーム発生器内部の石灰などの不純物を洗い流します。
  （所要時間は約 3分）
- 洗浄終了後、洗浄水はスタイラー排水タンクに排出されます。

その他の設定

設定 ボタンをタッチすると追加機能を使用できます。

Wi-Fi

Wi-Fi 接続をオン/オフにしたいときはこの機能を活用します。

1 **設定** ボタンをタッチします。

2 **Wi-Fi** をタッチしてアプリの案内に従って進めてください。

知っておこう

- 詳細は **LG ThinQ を使用する** をご参照ください。

サウンド

お知らせ音やタッチ音の大きさを段階ごとに設定できます。

1 **設定** ボタンをタッチします。

2 **操作音** をタッチしてお好みの音の大きさに設定します。

- 基本設定は **最大** になっています。
- **無音**、**小**、**中**、**大**、**最大** のうち、お好みの音の大きさに設定できます。

設定の初期化

保存してあるすべての情報を削除してお買い上げ時の設定に戻します。

1 **設定** ボタンをタッチして **設定の初期化** を選択します。

2 **初期化** ボタンをタッチすると設定の初期化を開始します。

お手入れ

スタイラーと付属品を定期的にお手入れしてスタイリング効果を高めてください。

⚠ 警告

- 必ず電源コードを抜いてからお手入れしてください。感電やけがの原因になります。

庫内やドア表面のお手入れ

庫内のほこりなどを取り除き、湿った布でふいてください。ふき終わったら、清潔な乾いた布でドアを拭いてください。よく乾かした後に運転を開始してください。

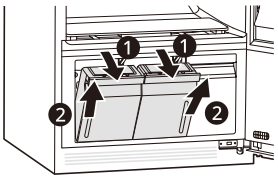
⚠ 注意

- 製品をお手入れするときは直接水をかけないでください。また可燃性物質（アルコール、シンナー、ベンゼンなど）、歯磨き粉、研磨剤、液体洗剤または漂白剤（ハイターなど）で拭かないでください。
- キリや鋭利なものでお手入れしないでください。タッチパネルが破損すると動作しないことがあります。

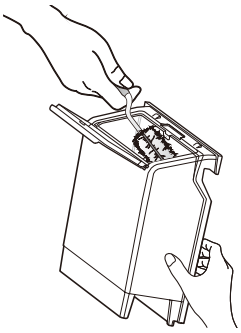
給水タンク、排水タンクのお手入れ

定期的に給水タンクと排水タンクまわりをお手入れしてください。

1 給水タンクと排水タンクの取っ手を手前に引き、各タンクを取り出します。



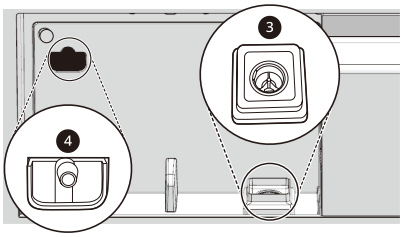
2 ブラシなどを使って、各タンクの開口部や内部をお掃除し、よく乾かしてください。



⚠ 注意

- 給水タンクに水以外の洗剤、柔軟剤などの他の液体を入れると製品に問題が生じることがあります。

3 本機下部の排水ノズル❹と給水口❸が詰まっていないことをご確認ください。



4 お手入れが終わったら外部の水分を完全に取り除いた後に取り付けてください。

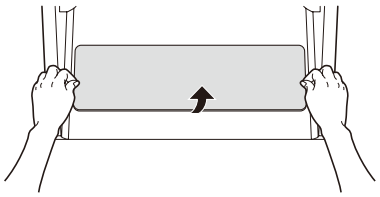
知っておこう

- お手入れが不十分な場合、衣類に異臭が付着することがあります。

糸くずフィルターのお手入れ

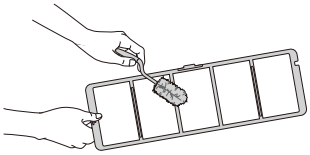
糸くずフィルターにほこりやゴミがたまっている場合、次の手順で取り除いてください。

1 糸くずフィルターカバーを取り出します。



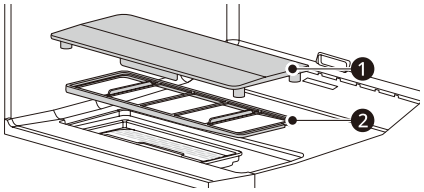
2 糸くずフィルターを柔らかいブラシで拭きとるか掃除機でお掃除してください。

- 糸くずフィルターが破れていたり破損している場合は新しいものと交換してください。



3 お手入れが終わったら、しっかりと乾燥させ、糸くずフィルター❷と糸くずフィルターカバー❶を正しく取り付けてください。

- フィルターを水で洗った後、完全に乾燥させずに製品を使用すると性能が低下することがあります。



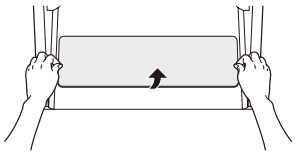
知っておこう

- フィルターお手入れ後は必ず所定の位置に取り付けてください。フィルターなしで製品を動作させた場合、運転しません。

糸くずフィルターカバーの鏡面のお手入れ

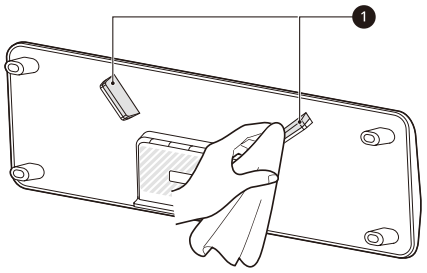
使用前にきれいにお手入れすることで製品がスムーズに運転します。

1 糸くずフィルターカバーを取り出します。

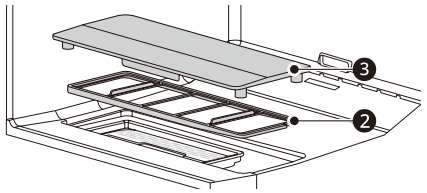


2 糸くずフィルターカバー裏側の鏡面❶を柔らかい布で拭きます。

- 鏡面に過度の傷がついたり破損した場合は新しいものと交換してください。
- 鏡面をきれいにお手入れしないと、スマート照度センサーの機能が制限されることがあります。



3 お手入れが終わったら糸くずフィルター❷ の上に糸くずフィルターカバー❸を正しく取り付けてください。



- 糸くずフィルターカバーのガイド(▽)が製品の正面を向くように取り付けてください。

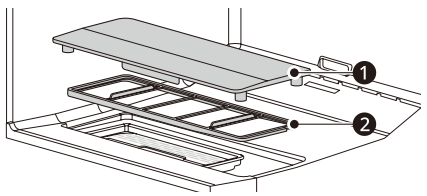
知っておこう

- フィルターカバーのお手入れ後、必ず所定の位置に取り付けてください。正しく取り付けていない場合、センサーが正しく作動せず運転中にエラーが発生することがあります。

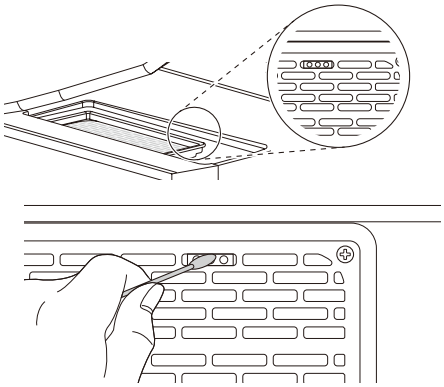
LED 照明ケースのお手入れ

定期的なお手入れは必要ありませんが、庫内に水をこぼしたり濡れた衣類(水着、ラッシュガードなど)のケアにより、糸くずフィルター下部の空気流路に水が入った場合はお手入れしてください。

1 糸くずフィルターカバー❷ と糸くずフィルター❶を取り出します。

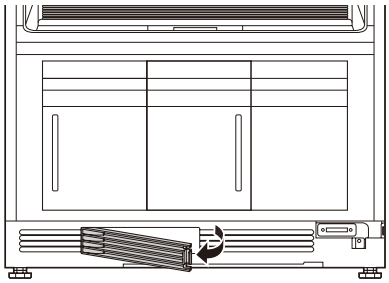


2 綿棒を使って LED照明ケースの上面を拭きます。



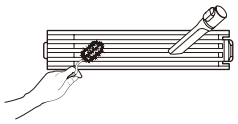
除湿循環口フィルターのお手入れ

1 除湿循環口フィルターを取り出します。



2 フィルターを柔らかいブラシで拭きとるか掃除機でお手入れしてください。

- フィルターが破れたり破損している場合は新しいものと交換してください。



3 お手入れが終わったらしっかりと乾燥させ、正しく取り付けてください。

知っておこう

- フィルターお手入れ後は必ず所定の位置に取り付けてください。フィルターなしで製品を運転させると、庫内に異物が流入することがあります。

設置

製品を設置する

設置する際のご注意

設置場所を決める

- 直射日光の当たる場所、高温になる場所、過度に寒い場所には設置せず、周辺温度が 10°C以上 35°C以下の場所に設置してください。
  - 設置場所の温度が高すぎたり低すぎたりすると誤作動や性能低下の原因となります。
- エアコンの風が直接当たる場所は避けてください。
  - 庫内とエアコンの温度差により結露が発生することがあります。
- 床が硬く平らな場所に設置してください。
  - 設置する床が平らでないと製品の振動や騒音の原因になったり、ドアを開閉する際に製品が転倒してけがをしたりするおそれがあります。
- 製品の前面はドアを開閉するスペースを確保してください。ロック式ドア、引き戸、ヒンジ付きドアなどは、製品の向かい側に設置しないでください。

⚠ 注意

- 製品を移動する際は、2人以上で運んでください。
  - 製品が重いため、1人で運ぶと本体の落下によりけがをしたり、製品が故障したりするおそれがあります。

ドアの開く向きを変更する

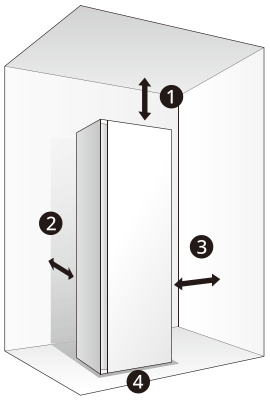
当社では、ドアの開く向きを変更するサービス（有償）をご用意しています。詳しくは LG エレクトロニクスジャパンカスタマーセンター にお問い合わせください。

- 製品のドアはかなり重いため、大人 2人以上で分解または取り付ける必要があります。
- 個人で変更する場合はけがや製品の故障の原因となりますのでご注意ください。

設置場所を確認する

開放された空間、またはビルトインで設置する場合

本機は「消防法設置基準」に基づく試験基準に適合しています。周囲の壁から、下記の距離以上離してください。

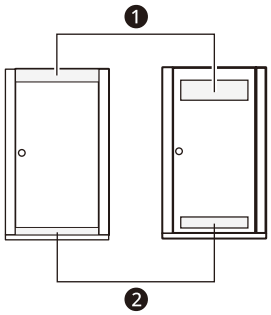


場所	すき間（mm）
❶ 上方	25
❷ 後方	50
❸ 側方（右／左方）	50
❹ 下方	0

- ビルトインで設置する場合、本機を収納するため下記のスペースを確保してください。
  - 幅670 mm以上／高さ1990 mm以上／奥行670 mm以上
- カーペット設置用スパイクを設置する際は、上方30㎜が追加で必要となります。
- ビルトインで設置する場合、前面に扉を付けないでください。

ウォークインクローゼット内に設置する場合

ウォークインクローゼットにドアが付いている場合、ドアの上下に下記の換気面積を確保してください。

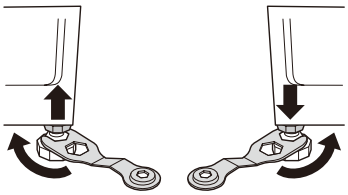


- 床から185cm以上の位置で、ドア上部に ❶ 310 cm^2 の換気面積があること
- 床から130cm以下の位置で、ドア下部に ❷ 155 cm^2 の換気面積があること

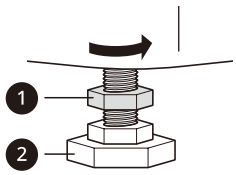
水平調節する

床がしっかり頑丈で、水平な場所に設置してください。

1 前面底にある水平調節脚をレンチで回し、本機を水平にします。



2 水平調節脚❷の調整が終わったら緩み止めナット❶をしっかり締めます。



⚠ 注意

- 水平に調整しないと、製品が倒れてけがをしたり、製品の振動や騒音の原因になります。

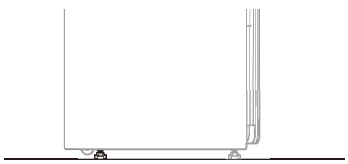
絨毯・カーペットの上に設置する場合(別売アクセサリー)

カーペットの上に設置する場合は、「背面水平調節脚」と「カーペット設置用スパイク」の設置をお勧めします。
「カーペット設置用スパイク」を設置した場合、カーペットに跡が残る恐れがあります。

1 背面のキャスターを使用して設置場所に本体を移動します。

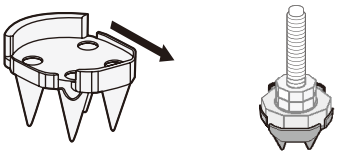
2 背面用水平調節脚2本を取り付けます。

- 背面用水平調節脚を取り付けるときは、本体を傾けます。



3 「水平調節する」の説明に従い、本体を水平にします。

4 水平調節脚の先端に、八角形の低い方を製品の前面に向けてカーペット設置用スパイクを4個取り付けます。



5 カーペット設置用スパイクを取り付けた後、製品をもう一度水平にする必要が生じる場合があります。

- 毛足が長い、あるいは弾力のある絨毯やカーペ ットの場合水受けトレイを取り付けるのに、前側の脚を少し高くする必要が生じる場合があります。

⚠ 警告

- 製品が重いため、後部の背面用水平調節脚 とカーペット設置用スパイクを設置する際は、2人以上で行ってください。
  – 腰を痛めたり、その他のけがを引き起こすおそれがあります。
- 移動や設置を行う際は立てた状態で行ってください。
  – 製品を横に倒すと、冷媒が漏れて製品の故障の原因となります。
- カーペット設置用スパイクのお取り扱いにはご注意ください。
  – カーペットの裏地やパッドを貫通す るように設計されており先端がとがっています。
  – 怪我や製品の損傷を防ぐため、本体を設置する際はカーペット設置用スパイクの下に指や手を入れないようにしてください。

知っておこう

- 水受けトレイをこまめに確認し、空にしてください。
- 運転中は本体を開けないでください。開けてしまうと絨毯・カーペットに水が落下し、カビの原因となります。
- 給水タンクの給水または排水時に、庫内下部を濡らさないようにしてください。給水タンクの外側を清潔に保ち、カビなどが繁殖しないようにしてください。

水受けトレイの取り付け/取り外し

水受けトレイは製品の運転中に発生した水が床に落ちるのを防ぐ部品です。必ず製品の下部に取り付けて使用してください。

水受けトレイを取り付ける

1 水受けトレイの矢印の方向と上面の文字を確認して左側から差し込みます。

2 水受けトレイの右側をぐっと中まで押し込みます。

水受けトレイを取り外す

1 水受けトレイの右側を引きます。

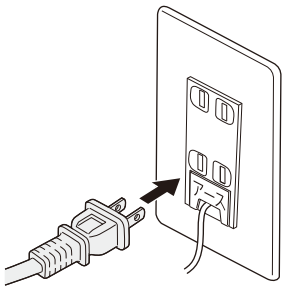
- 水受けトレイに水が溜まっていることがあるため、ゆっくりと引いてください。勢いよく引くと水が溢れるおそれがあります。

2 水受けトレイの左側を引いて取り外し、水を捨てます。

アース取り付け時のご注意

アース線を接続して電源プラグをコンセントにつなぎます。アース端子がない場合は販売店または最寄りの電気工事店にアース工事（D種アース工事）をご相談ください。

- アースは電気回路を地面に接続することで、一定基準を超える電圧から電子機器を保護して感電を防ぎます。
- 本機は 100 V 専用です。必ず 100 V 専用コンセントに差し込んでください。
- 製品をつないだコンセントに他の家電製品を同時につながないでください。
- 感電事故を防ぐため必ずアース線を接続してから製品を使用してください。



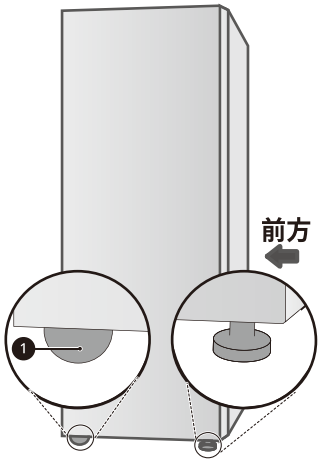
アース線を接続してはいけないところ

- 水道管またはガス管（感電・爆発の危険）
- 電話線または避雷針のアース（落雷のときの危険）

移動するときのご注意

室内で設置場所を移動するとき

1 スタイラー背面の底にあるキャスター❶をご確認ください。



2 製品前面の真ん中を両手で持ち、押しながらゆっくり移動してください。

- 必ずスタイラーの底にあるキャスターを利用して立てた状態を維持しながら移動してください。製品を傾けたり横倒しにして移動すると冷却ガスが漏れて故障の原因になります。

3 移動が完了したら必ず水平調整を行ってください。

故障連絡の前に

故障診断する

製品の故障原因を診断できる機能です。

知っておこう

- LGエレクトロニクスの過失ではなく外部要因（Wi-Fi 使用不可、Wi-Fi 接続解除、アプリのストアポリシーの変更、アプリ使用不可など）によりサービスが停止する場合があります。
- 故障診断機能は予告なく変更される場合があり、現地の事情によりサービス内容が異なる場合があります。

LG ThinQ で故障診断する

Wi-Fi が搭載されている製品に問題が生じた場合、**LG ThinQ** からスマートフォンにデータを送信し、問題を診断することができます。

- **LG ThinQ** を実行してメニューのスマート診断を選択します。**LG ThinQ** が案内する手順に従って製品を診断します。

問題を解決する

製品を使用中に以下のようなエラーメッセージが現れた場合には、「原因および解決策」をご確認ください。故障していない可能性があります。

エラーメッセージ

製品の使用中、表示部にエラーメッセージが表示された場合は、カスタマーセンターにお問い合わせする前に以下の内容をご確認ください。

表示部のエラーメッセージは購入した製品により異なる場合があります。

症状	原因および解決策
タンクの状態を確認してください	**給水タンクの水が少ない、または給水タンクがはずれていませんか？** • 給水タンクを満水にして所定の位置に取り付けてください。
	排水タンクが満水、または排水タンクがはずれていませんか？ • 排水タンクを空にして所定の位置に取り付けてください。
給水タンクに水を入れてください	**給水タンクの水が少なくなっていませんか？** • 給水タンクを満水にして所定の位置に取り付けてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は部品不良によるエラーの可能性がありますので、カスタマーセンターにご連絡ください。
	給水タンクが正しく取り付けてありますか？ • 給水タンクを取り出してからもう一度所定の位置に取り付けてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は部品不良によるエラーの可能性がありますので、カスタマーセンターにご連絡ください。
排水タンクを空にしてください	**排水タンクが満水ではありませんか？** • 排水タンクを空にして所定の位置に取り付けてください。それでもエラーメッセージが表示される場合は部品不良によるエラーの可能性がありますので、カスタマーセンターにご連絡ください。

症状	原因および解決策
排水タンクを空にしてください	**排水タンクが正しく取り付けてありますか？** • 排水タンクを取り出した後、もう一度所定の位置に取り付けてください。それでエラーメッセージが表示される場合は部品不良によるエラーの可能性がありますので、カスタマーセンターにご連絡ください。
ドアをしっかり閉めてください	**ドアが完全に閉まっていない状態で製品を運転しましたか？** • ドアをしっかり閉めてください。
糸くずフィルターの取り付け	**フィルターが所定の位置に取り付けてありますか？** • フィルターなしで製品を運転させたときに表示されます。フィルターを所定の位置に取り付けてください。
	庫内に水をこぼしたり濡れた衣類（水着、ラッシュガードなど）をかけましたか？ • 糸くずフィルターの下部の空気流路に流入した水が製品の動作に影響を与えている可能性があります。フィルターカバーと糸くずフィルターを取り出し、水分を取り除いて一定期間乾燥させてから製品をもう一度使用してください。その後も問題が生じる場合は、カスタマーセンターにご連絡ください。
衣類の落下検知	**製品の床に衣類が落ちていませんか？** • 床に落ちた衣類をハンガーにかけなおしてください。運転中に衣類が落ちないよう、衣類のボタンやファスナーを閉めてください。ボタンやファスナーがない衣類は紐で固定してください。
照度センサー異常	**製品の照度センサーが正常に動作しません。** • 電源プラグを抜いてカスタマーセンターにご連絡ください。
流路調節装置異常 1 **流路調節装置異常 2**	**製品の流路調節装置が正常に動作しません。** • 電源プラグを抜いてカスタマーセンターにご連絡ください。
排気ファン異常	**機械室内部の排気ファンが正常に作動しません。** • 電源プラグを抜いてカスタマーセンターにご連絡ください。
温度センサー異常 1 **温度センサー異常 2** **温度センサー異常 3** **温度センサー異常 5**	**庫内の温度センサーが正常に動作しません。** • 電源プラグを抜いてカスタマーセンターにご連絡ください。
スチームヒーター異常 1 **スチームヒーター異常 4**	**庫内のスチームヒーターが正常に動作しません。** • 電源プラグを抜いてカスタマーセンターにご連絡ください。
コンプレッサー異常 1 **コンプレッサー異常 8**	**庫内のコンプレッサーが正常に動作しません。** • 電源プラグを抜いてカスタマーセンターにご連絡ください。
振動ハンガーラック異常	**振動ハンガーラックが正常に動作しません。** • 電源プラグを抜いてカスタマーセンターにご連絡ください。
スチーマーヒーターの過熱異常	**庫内のスチーマーヒーターが正常に動作しません。** • 「シュー」という音が止まったら、電源プラグを抜いてカスタマーセンターにご連絡ください。
スチーマーヒーターの断線異常	**庫内のスチーマーヒーターが正常に動作しません。** • 電源プラグを抜いてカスタマーセンターにご連絡ください。
ハンディスチーマーヒーターの断線異常	**庫内のハンディスチーマーヒーターが正常に動作しません。** • 電源プラグを抜いてカスタマーセンターにご連絡ください。

症状	原因および解決策
スチーマー温度センサーの異常	**庫内のスチーマー温度センサーが正常に動作しません。** • 電源プラグを抜いてカスタマーセンターにご連絡ください。
ハンディスチーマー温度センサーの異常	**庫内のハンディスチーマー温度センサーが正常に動作しません。** • 電源プラグを抜いてカスタマーセンターにご連絡ください。
スチーマーの給水ができない	**庫内のスチーマーウォーターポンプが正常に動作しません。** • 電源プラグを抜いてカスタマーセンターにご連絡ください。
スチーマーの排水ができない	**庫内のスチーマーの排水バルブが正常に動作しません。** • 電源プラグを抜いてカスタマーセンターにご連絡ください。

Wi-Fi

症状	原因および解決策
LG ThinQ アプリに登録できない	**無線LANが設置されていません。** • インターネットに接続できる無線LANが必要です。
	スマートフォンで設定している無線LANアクセスポイントのパスワードが間違っています。 • スマートフォンで設定している無線LANアクセスポイントを削除し、**LG ThinQ** アプリからもう一度本機を登録してください。
	スマートフォンのモバイルデータ通信がオンになっています。 • スマートフォンのモバイルデータ通信をオフにしてください。
	本機がアクセスできないワイヤレスネットワーク名（SSID）が使用されています。 • ワイヤレスネットワーク名（SSID）は特殊文字を使用せず、アルファベットと数字の組み合わせにしてください。
	無線LANアクセスポイントが2.4GHz帯対応になっていません。 • 本機は2.4 GHz帯（IEEE802.11b/g/n）を使用します。5 GHz帯は使用できません。
	本機と無線LANアクセスポイントの距離が遠すぎます。 • 本機と距離の近い無線LANアクセスポイントを使用してください。遠すぎると、無線LANの信号が本機に届かず通信できません。

使用について

症状	原因および解決策
製品が動作しません	**製品の 電源 ボタンをタッチしましたか?** • 製品の 電源 ボタンをタッチします。
	電源プラグがコンセントから抜けていませんか? • 電源プラグをコンセントに正しく差し込んでください。
	漏電遮断器が OFFになっていませんか? • 漏電遮断器を ONにしてください。
	電源はオンになったのに、タッチボタンが反応しませんか? • 電源コードをつないで10秒後からタッチボタンが反応します。タッチボタンに異物が付着していないか確認してください。それでも正常に反応しない場合は、カスタマーセンターにご連絡ください。

症状	原因および解決策
製品が動作しません	**ドアを閉めて 開始/一時停止 ボタンをタッチしましたか?** • スタートボタンをタッチしてください。
	給水中、またはお湯の沸騰中ではありませんか? • スチームの準備中ですのでしばらくお待ちください。
	ボタンのロック機能を設定しましたか? • ボタンのロック機能を解除して スタート ボタンをタッチしてください。
	給水タンクに柔軟剤などの水以外の液体を入れましたか? • 水以外の液体を使用すると運転に異常が生じることがあります。カスタマーセンターにご連絡ください。
煙が出ます	**運転中にドアを開けましたか?** • 動作中の蒸気が煙に見えることがありますが、故障ではありません。
	運転中に袖が製品に挟まっていませんか? • 運転中に蒸気や風が漏れてくるときは製品に挟まった衣類を入れなおしてもう一度スタートしてください。
給水タンクを満水にして一度使用したところ、タンクに水がなくなりました	**初めて使用しましたか?** • 初めて使用するときは庫内に水が溜まっていないためたくさんの水が必要になります。2回目以降は水の使用量が減ります。
運転中に音がします	**運転初期の「ゴロゴロ」という音ですか?** • 運転をスタートする前に振動ハンガーラックが水平調節する音です。故障ではありませんので安心してご使用ください。音がひどくなる場合はカスタマーセンターにご連絡ください。
	運転中の「ガタガタ」「ドンドン」または「コンコン」という音ですか? • 振動ハンガーラックが動きながら衣類にぶつかったり衣類がかかっていないハンガーを使用することで出る音です。服のかけ方に問題はないか、使わないハンガーがかかっていないか確認してください。 • 服のファスナーやボタンが庫内の壁に当たって出る音です。服のファスナーやボタンをすべて閉めた後、スタイラーの内側に向けてかけてください。 • ハンガーがぶつかる音です。ハンガーがぶつからないよう同じ方向にかけてください。
	運転中の「ボコボコ」とお湯が沸く音や「シュー」という音ですか? • スチームを作るために水を沸騰させて蒸気を噴射しています。 故障ではありませんので安心してご使用ください。 音がひどくなる場合はカスタマーセンターにご連絡ください。
	運転中の「ウーン」という音ですか? • 乾燥するために冷蔵庫のようにコンプレッサーが回転する音です。 故障ではありませんので安心してご使用ください。 音がひどくなる場合はカスタマーセンターにご連絡ください。
	運転中の「ウィーン」という音ですか? • 乾燥するために空気を循環させる音です。故障ではありませんので安心してご使用ください。音がひどくなる場合はカスタマーセンターにご連絡ください。

症状	原因および解決策
運転中に音がします	**運転中の水が流れる音ですか?** • 運転中に蒸気を作るために水を溜める音です。故障ではありませんので安心してご使用ください。 • ドアを開けるときに音がするのは給水タンクの残りの水を抜いている音です。故障ではありませんので安心してご使用ください。
	高圧ハンディスチーマー使用中の音ですか? • スチーム準備中とスチーマー使用中に給水され、このとき給水ポンプから騒音が発生することがあります。高圧蒸気発生用のポンプなので給水音が多少大きく聞こえることがあります。故障ではありませんので安心してご使用ください。
	高圧ハンディスチーマー使用終了後の「カタッ」という音や「プシュー」という音ですか? • 高圧スチーマー使用後の約 20～30分後にスチーマーの高圧を解除するため、「カタッ」や「プシュー」という音がすることがあります。故障ではありませんのでご安心ください。
製品運転時間がどんどん長くなります	**濡れた衣類を入れましたか?** • 過度に濡れた衣類は乾燥時間が長くなることがあります。脱水してから衣類を入れてください。衣類の量や濡れ具合により乾燥時間が長くなることがあります。乾燥が終わると自動的に終了します。
衣類が湿っています	**フィルターが詰まっていませんか?** • フィルターをお掃除してください。
	ドアに付いているゴム素材に裂け目があったり、ドアの隙間に衣類が挟まっていませんか? • ドアに隙間が生じたことにより衣類が乾きにくいことがあります。電源プラグを抜いてカスタマーセンターにご連絡ください。
	ドアの隙間に衣類が挟まっていませんか? • ドアの隙間に挟まった衣類を入れなおしてください。
服からニオイがします。	**新品ですか?** • 新品の場合、製品特有のプラスチック臭がすることがあります。スタイラーのドアを開けて換気してください。
	クローゼットに長期間保管してある衣類やしつこいニオイのする衣類を使用しましたか? • クローゼットに長期間保管してある衣類やしつこいニオイのする衣類は、使用前に一度洗濯してからご使用ください。
	スタイラーを使用してから時間が経っていたり、給水/排水タンクに異物が入っていませんか? • フィルターとタンクをお掃除してください。
製品が左右に揺れます。	**床が平らでない場所に設置していませんか?** • 平らな場所に設置してください。
運転中に振動ハンガーラックの振動音が聞こえません。	**丈の長い服をかけましたか?(約 120～130 cm丈の服)** • 丈の長い衣類をかけた場合、自動的に検知してスチーム噴射前の段階で衣類が落ちるのを防ぎ、衣類が傷むのを最小限に抑えるため、振動ハンガーラックが作動しません。故障ではありませんので安心してご使用ください。
庫内に水滴が付く	**スチームが凝縮され、水滴がつくことがあります。** • 自然な現象ですので、ご使用後に内部を拭いていただくか、ドアを開けて換気をしていただければ内部が乾きます。

その他

仕様

仕様

型　　番	SC5GMR80S
品　　名	LGスタイラー
電　　源	100 V～、50/60 Hz　単相、AC 12A
定格消費電力	1100 W
安全装置	二重過熱安全装置（温度ヒューズ、ソフトウェア）
標準乾燥容量	6着（上着5着＋ズボン1着）
ドアタイプ	右開き • 開き方を変更するサービスがあります。詳しくは LG エレクトロニクスジャパンカスタマーセンター にお問い合わせください。
外形寸法	600 mm（W） X 620 mm（D） X 1965 mm（H） ドアが開いた状態：1185 mm（D）
本体重量	90 kg
耐用年数	5年 ただし、製造出荷後、本書に記載されている通りの正常な使用を行った場合に限ります。

オープンソース情報

オープンソース情報のご案内

本機に搭載されている GPL、LGPL、MPL およびその他のソースコードの公開義務があるオープンソースライセンスのもとで配布されたソースコードの取得や、オープンソースのライセンス内容、著作権の表示などを確認するには https://opensource.lge.com をご参照ください。また、消費者が opensource@lge.com から e-mail で本機に搭載されているソフトウェアのオープンソースコードを依頼する場合、LGエレクトロニクスは媒体費用や配送料など提供に必要な最小限の費用を受け取り、記憶媒体に収めて提供します。本サービスは製品の販売後 3年間、本情報を受け取られたすべての方に有効です。

本機の廃棄

本機の廃棄

⚠ 警告

- 廃棄、リサイクルなどで製品を保管するときに子供が閉じこめられることが懸念される場合は、ドアパッキンを引っ張り取り外す。

本機は家電リサイクル法の対象製品です。

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの製品を廃棄される場合に収集・運搬料金とリサイクル料をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村へ適正に引き渡すことが求められています。

保証とアフターサービス

当社製品のお買い物、取り扱い方法や修理のご相談など、ご不明な点は下記LGエレクトロニクスジャパンカスタマーセンターにご相談ください。

- LGエレクトロニクスジャパンカスタマーセンター
  - 電話：0120-407-722 **固定電話（無料）**
  - 携帯電話/PHS: 050-3188-3900 **携帯電話(有料)**

知っておこう

- 受付時間 9:00 ~ 18:00 (年末年始および当社指定日を除く)
  - IP電話など、上記番号をご利用いただけない場合　TEL：03-5675-7323　FAX：03-5675-7335

修理に関するご案内

本書を再確認していただき、なお異常があるときは、電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてから、LGエレクトロニクスジャパンカスタマーセンターに修理をご依頼ください。

保証期間中

保証書の規定に従って、当社サービスセンターが修理させていただきます。

保証期間が過ぎているとき

修理して使用できる場合、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理ご依頼時にご連絡いただきたい内容

- ご住所、お名前、電話番号
- 製品名、モデル名、製造番号
- お買い上げ日、ご購入店名
- 故障の状況（できるだけ具体的に）

保証書（別添）について

ご購入時、ご購入の年月日、販売店名などの所定事項をご記入の上、購入明細と一緒に保管してください。保証期間内およびその後の点検/サービス受付のために記載内容を利用させていただく場合があります。

また、保証期間は保証書に記載されています。

部品について

当社は、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製品の製造打切後、6年保有しています。

修理のために交換、取り外した部品は当社で引き取らせていただきます。

また、修理時に当社の品質技術基準に適合した再利用部品を使用することがあります。あらかじめ、ご了承ください。

⚠ 注意

- 保証期間中に正常な使用状態で故障した場合は、無料修理させていただきますが、保証書の提示がない場合や、一般家庭外（たとえば業務用）で使用したことによる故障修理は有料修理となります。詳しくは保証書記載の［無料修理規定］をご確認ください。
- 修理技術者以外の人は、絶対に分解や修理・改造は行わないでください。発火したり、異常な動作によりけがをすることがあります。（故障時は有料になります。）



LG エレクトロニクスジャパン 株式会社
〒104-8301 東京都中央区京橋2-1-3 京橋トラストタワー 15 階

Printed in Korea